

年 報
(令和4年度実績)

静岡県工業技術研究所

令和6年1月

目 次

1	概 況	
(1)	工業技術研究所の沿革	1
(2)	工業技術研究所全体の事業概要	2
(3)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要	4
(4)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの組織図	5
(5)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員	8
(6)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算	12
(7)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備	16
2	事業実績	
(1)	試験研究、調査及び指導事務	17
ア	研究開発	17
(ア)	研究課題	17
(イ)	外部研究員招へい事業	25
(ウ)	特許等の登録及び出願	28
イ	技術相談等	29
(ア)	技術相談	29
(イ)	依頼試験	30
(ウ)	機器使用等	35
(エ)	研究会の育成	36
(オ)	研修生の受入れ	37
ウ	技術情報提供	39
(ア)	研究報告関係	39
(イ)	研究発表会関係	39
(ウ)	研究所情報等の提供	42
(エ)	研究所の事業広報等	42
(オ)	講習会等	43
(カ)	講師活動	47
(キ)	委員派遣	52
(ク)	産業技術連携推進会議等への派遣	63
(ケ)	学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展	68
(2)	令和4年度研究成果一覧	75
ア	工業技術研究所	75
イ	沼津工業技術支援センター	81
ウ	富士工業技術支援センター	83
エ	浜松工業技術支援センター	85

1 概 況

(1) 工業技術研究所の沿革

明治39年	3月	「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年11月に開場
大正2年	12月	「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転
大正4年	9月	「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称
大正8年		「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転
大正8年	12月	「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転
大正9年	2月	「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称
昭和12年	11月	「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設
昭和27年	4月	「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称
昭和28年	1月	「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通5丁目）に移転
昭和32年	4月	「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称
昭和36年	4月	「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称
昭和36年	6月	「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置
昭和38年	1月	「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」と改称
昭和38年	12月	「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（後富士市伝法、現富士市永田北町）に移転
昭和42年	6月	「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町（現磐田市大原）に開所
昭和57年	11月	「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転
昭和59年	4月	「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称
平成2年	4月	「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称 「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設
平成3年	4月	「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大淵）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称 「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地（浜松市北区新都田1丁目）に移転、開設
平成19年	4月	「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と名称変更

(2) 工業技術研究所全体の事業概要

地域産業に最も近い技術支援機関として、研究開発、依頼試験・設備使用、技術相談・人材育成、技術情報の提供、産学官連携の促進や周辺地域の公設試験研究機関との連携強化等を通じて、ものづくりを行う県内中小企業の技術開発や課題解決を支援している。

特に、地域に根ざした産業や県の産業振興施策である先端産業育成プロジェクトをはじめとする集積を目指す産業分野の技術（光・照明・音響、製紙、バイオテクノロジー、食品、環境エネルギー、生活製品）、工業全般の基礎となる技術（金属材料、高分子材料、機械・電子、情報通信）において、地域産業の振興、新たな産業の創出などの基礎となる技術力の向上を支援している。

近年は、急速な人口減少による人手不足の顕在化や車の電動化・自動運転などの著しい技術革新への対応など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しており、企業ニーズに対応した支援を推進するため、生産性向上を目的としたI o Tに関する研究支援、電気自動車を始めとする次世代自動車に関する研究支援、新たな素材として期待されるセルロースナノファイバー（CNF）に関する研究支援、ものづくりをデジタルデータに基づいて一貫して行うデジタルものづくりに関する研究支援について、工業技術研究所の各機関が連携した取組を進めている。

県内産業界を一体的に技術支援できる組織体制とするため、平成19年度には沼津・富士・静岡・浜松工業技術センターを統合し、工業技術研究所（静岡市）とし、その下に沼津・富士・浜松工業技術支援センターを配置した。

平成24年9月、工業技術研究所全体で、文部科学省から科研費応募資格を有する研究機関としての指定を受け、企業支援のための技術力向上に努めている。平成26年3月、これまでの窓口相談を拡充し、研究所及び各工業技術支援センターにから海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設したほか、商工会議所・商工会等との連携により、研究員が直接企業に向く出張相談の強化を行った。平成28年10月、「デザイン相談窓口」を開設し、デザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援を強化した。

さらに、令和5年1月、「デジタルものづくり相談窓口」を開設し、県内企業の製品開発等の支援に取り組んでいる。

これらにより、企業が取り組む研究開発、製品設計・生産、品質管理における技術課題の解決のための支援が強化された。

○ 主要事業

ア 研究開発

新成長戦略研究、経常研究、共同研究、受託研究を行い、地域産業の技術基盤の強化や先端技術の開発による産業支援を行う。

イ 依頼試験・設備使用

地域企業の新製品開発や性能評価のため、依頼試験や試験機器・施設等を開放し、技術支援を行う。

ウ 技術相談・人材育成

中小企業の技術相談や各種研修会・講習会を開催し、地域産業の技術力向上に努める。

エ 技術情報の提供

研究所のウェブサイトやメールマガジン、センターニュース、また各種技術講演会を通じて、地域の中小企業を中心に、製造技術や製品開発に必要な技術情報を提供する。

オ 産学官連携の促進

静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータを配置し、地域企業の技術情報の共有化や研究開発の支援などを通じた地域企業、大学、支援機関との連携強化を図っている。

他県の公設試験研究機関との連携を密にするため、関東経済産業局管内の首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））や、中部経済産業局管内の中部イノベネットに参画し、情報交換や広域連携による域内企業の支援強化を進めている。また、関東甲信越静地域の公設試が連携して中小企業の海外展開を支援する組織（広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP））に参加し、域内企業の海外進出を技術面から支援している。

カ 先端産業創出プロジェクト等の推進

先端産業創出プロジェクト（ファルマバレープロジェクト、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト、フotonバレープロジェクト、次世代自動車プロジェクト、ふじのくにCNFプロジェクト、マリンオープンイノベーションプロジェクトなど）による産業イノベーション拠点の形成事業や中小企業の成長分野への進出を支援する新成長産業戦略的育成事業と相互に連携することにより、新技術・新製品の開発を促進する。

(3) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要

ア 工業技術研究所(静岡市)

(ア) 敷地面積	23,157 m ²		
(イ) 建築面積	7,659 m ²		
(ウ) 延床面積	13,091 m ²		
○管理棟	鉄筋コンクリート4階建	2,250 m ²	(管理部門)
○研究棟	鉄筋コンクリート4階建	4,130 m ²	(研究部門)
○研修棟	鉄筋コンクリート平屋建	270 m ²	(講習・研修施設)
○実験棟	鉄骨平屋建	2,719 m ²	(実験施設)
○開放棟	鉄筋コンクリート3階建	1,680 m ²	(開放試験・共同研究施設等)
○資料館	鉄筋コンクリート2階建	460 m ²	
○付属棟		1,582 m ²	(設備棟・薬品庫等)

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

(ア) 敷地面積	19,958 m ²		
(イ) 建築面積	3,892 m ²		
(ウ) 延床面積	6,219 m ²		
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	4,384 m ²	(管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート平屋建	648 m ²	(実験施設)
○付属棟		305 m ²	(廃水処理施設等)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	882 m ²	

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

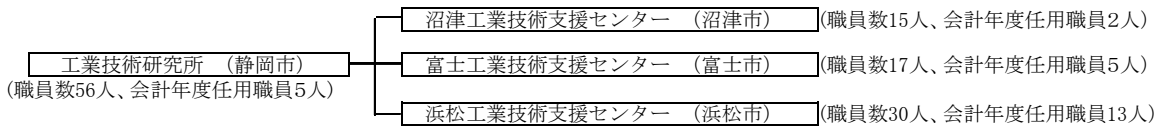
(ア) 敷地面積	20,075 m ²		
(イ) 建築面積	4,433 m ²		
(ウ) 延床面積	8,801 m ²		
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	5,346 m ²	(管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート3階建	2,414 m ²	(実験施設)
○付属施設		165 m ²	(車庫・駐輪場等)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	876 m ²	

エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)

(ア) 敷地面積	28,238 m ²		
(イ) 建築面積	5,792 m ²		
(ウ) 延床面積	11,142 m ²		
○管理研究棟	鉄筋コンクリート4階建	5,023 m ²	(管理・研究部門)
○開放棟	鉄筋コンクリート2階建	1,276 m ²	(開放試験・共同研究・講習研修施設)
○実験棟	鉄筋コンクリート2階建	3,309 m ²	(実験施設)
○付属棟		128 m ²	(排水処理施設・薬品庫等)
○車載機器EMCテストサイト	鉄骨平屋建	531 m ²	(実験施設)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	875 m ²	

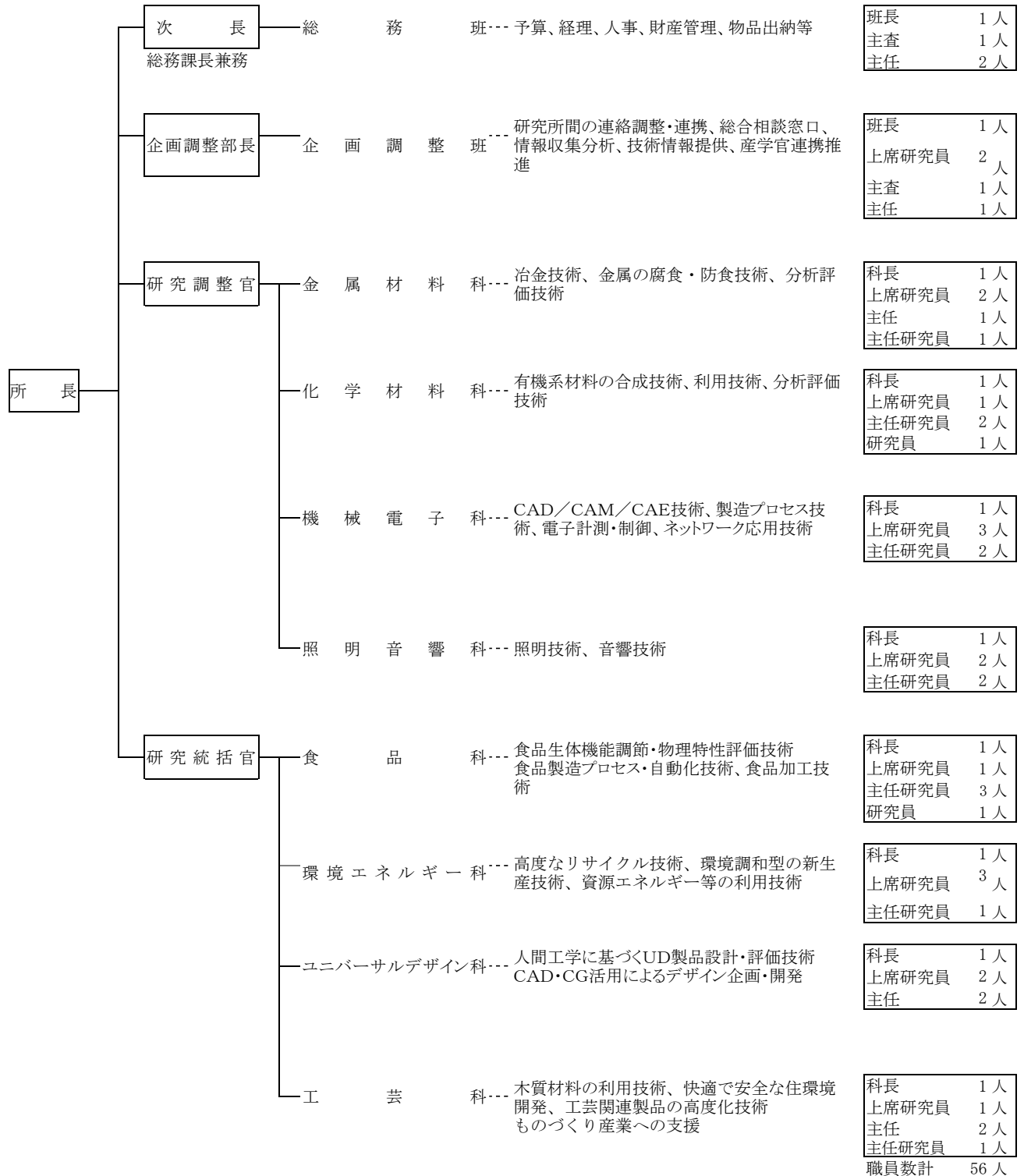
(4) 組織図

令和4年4月1日現在の工業技術研究所の組織及び業務分担は、次のとおりである。
職員総数は事務職員11人、技術職97人、再任用職員10人、会計年度任用職員25人の計143人である。



ア 工業技術研究所（静岡市）

職員数は事務職員5人、技術職員46人、再任用職員5人、会計年度任用職員5人の計61人である。

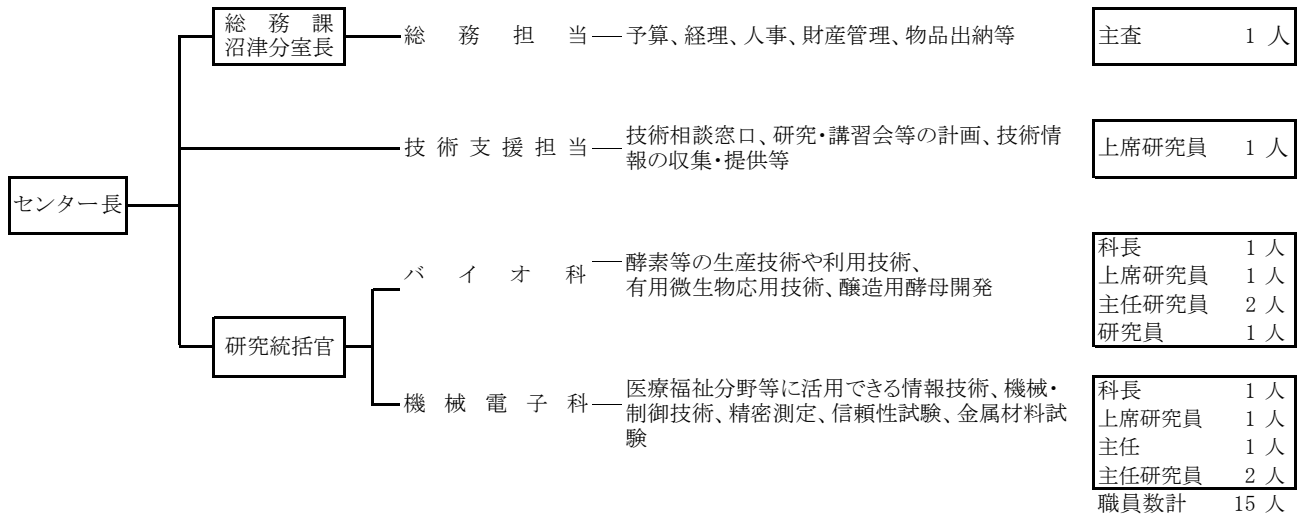


(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	5人

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

職員数は事務職員2人、技術職員12人、再任用職員1人及び会計年度任用職員2人の計17人である。

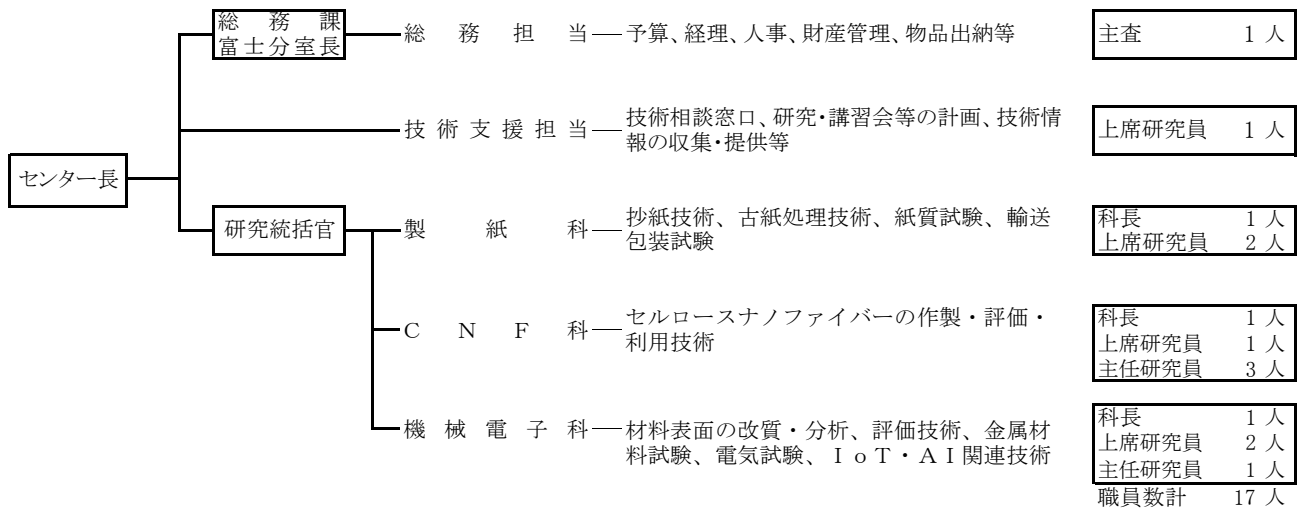


(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	2人

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

職員数は事務職員2人、技術職員15人、会計年度任用職員5人の計22人である。

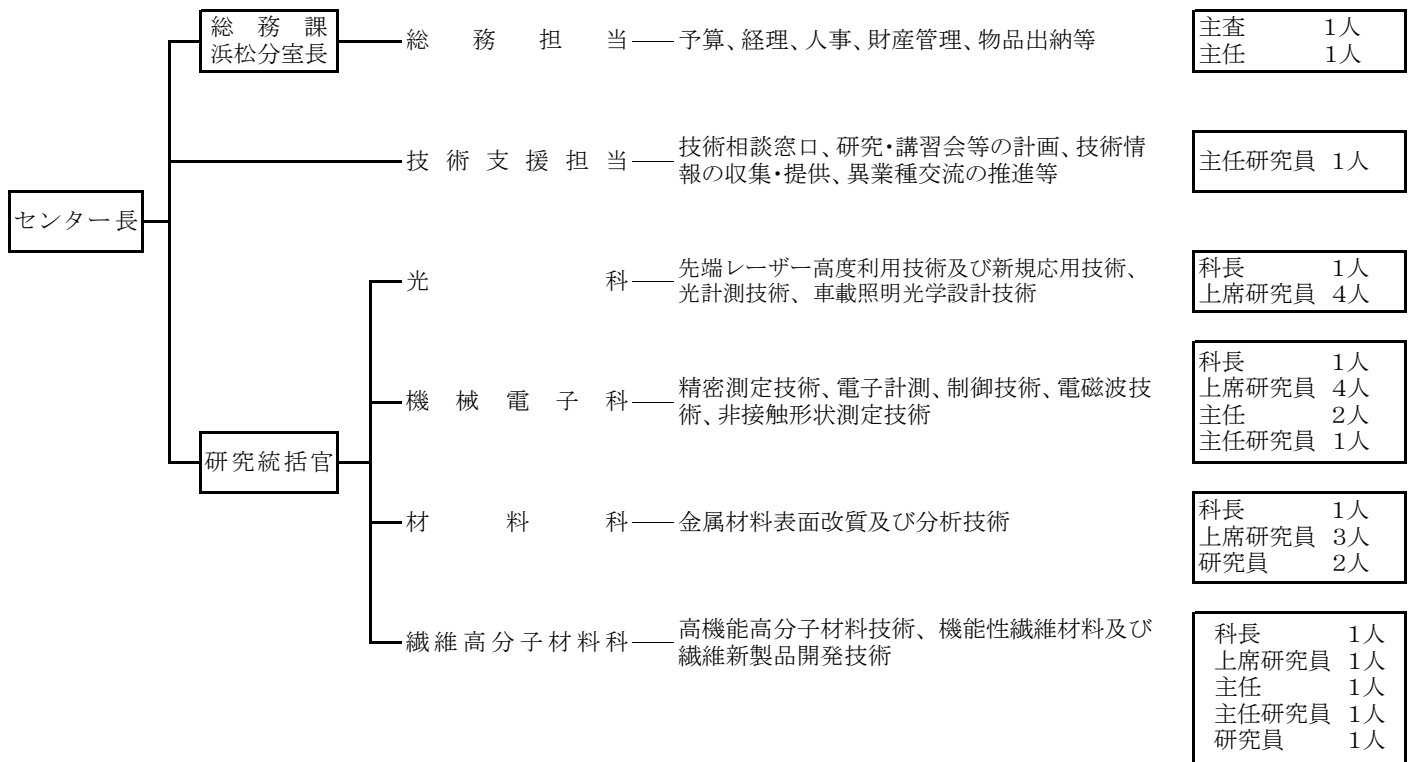


(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	5人

エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）

職員数は事務職員 2 人、技術職員24人、再任用職員 4 人、会計年度任用職員12人の計42人である。



職員数計 30人

(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	12人

(5) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員

ア 工業技術研究所

部課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員	部課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
所長		1		化学材料科		5	
次長兼総務課長	1			機械電子科		6	
企画調整部長		1		照明音響科		5	
研究統括官		1		食品科		6	
研究調整官		1		環境エネルギー科		5	
総務課	3	1		ユニバーサルデザイン科		5	
企画調整部	2	3	3	工芸科		5	2
金属材料科		5		計	6	50	5

職員名簿

組 織	職 名	氏 名	組 織	職 名	氏 名
所 長		杉山 直人		科 長	木野 直樹
総務課	次長兼課長	鈴木 加江	照明音響科	上席研究員	豊田 敏裕
	班 長(事)	糸田 昇一		上席研究員	竹居 翼
	主 査(事)	執行 賀名子		主任研究員	柳原 亘
	主 任(事)	川嶋 直人		主任研究員	田代 友範
	主 任(技)	一瀬 将平		研究統括官	油上 保
	部 長	田中 伸佳		食品科	科 長
班 長	小松 剛	上席研究員	松野 正幸		
上席研究員	増井 裕久	主任研究員	袴田 雅俊		
上席研究員	浅沼 俊倫	主任研究員	長房 秀幸		
主 査(事)	白輪 真也	主任研究員	石橋 佳奈		
主 任(事)	笠井 慶子	研究員	堀池 隼雄		
会計年度任用職員 3名		環境 エネルギー科	科 長		岩原 健二
研究調整官	中山 洋		上席研究員	鈴木 光彰	
金属材料科	科 長		大竹 正寿	上席研究員	岡本 哲志
	上席研究員		岩澤 秀	上席研究員	室伏 敬太
	上席研究員	鈴木 洋光	主任研究員	井口 大輔	
	主 任(技)	萱沼 広行	ユニバーサル デザイン科	科 長	長澤 正
	主任研究員	田中 宏樹		上席研究員	易 強
科 長	真野 毅	主 任(技)		多々良 哲也	
化学材料科	上席研究員	菅野 尚子	主 任(技)	深谷 謙一	
	主任研究員	小泉 雄輔	工芸科	科 長	田村 克浩
	主任研究員	望月 智文		上席研究員	村松 重緒
	研究員	野澤 遼		主 任(技)	八木 淳一
科 長	赤堀 篤	主 任(技)		増田 康利	
機械電子科	上席研究員	望月 紀寿		主任研究員	菊池 圭祐
	上席研究員	望月 建治	会計年度任用職員 2名		
	上席研究員	大澤 洋文	(事)は事務職員、(技)及びその他は技術職員 (会計年度任用職員を除く)		
	主任研究員	松下 五樹			
	主任研究員	岩崎 清斗			

イ 沼津工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
センター長		1	
研究統括官		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
バイオ		5	
機械電子		5	1
計	2	13	2

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		大川 勝正	機械電子科	科 長	本多 正計
研究統括官		鬼久保 郁雄		上席研究員	船井 孝
総務課分室長 (事)		神谷 弘樹		主 任(技)	佐藤 廣美
総務担当	主 査(事)	小泉 由美		主任研究員	稲葉 彩乃
	会計年度任用職員 1名			主任研究員	是永 宗祐
技術支援担当	上席研究員	飯塚 千佳世	会計年度任用職員 1名		
バイオ科	科 長	杉本 芳邦	(事)は事務職員、その他は技術職員(会計年度任用職員を除く)		
	上席研究員	勝山 聡			
	主任研究員	高木 啓詞			
	主任研究員	鈴木 雅博			
	研究員	横澤 賢			

ウ 富士工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
センター長		1	
研究統括官		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
製紙		3	3
CNF		5	1
機械電子		4	
計	2	15	5

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		櫻川 智史	CNF科	科 長	山下 晶平
研究統括官		飯野 修		上席研究員	田中 翔悟
総務課分室長 (事)		高松 彰		主任研究員	中島 大介
総務担当	主 査(事)	勝山 祥光		主任研究員	前田 研司
	会計年度任用職員	1名		主任研究員	山崎 利樹
技術支援担当	上席研究員	三宅 健司	会計年度任用職員	1名	
製紙科	科 長	深沢 博之	機械電子科	科 長	本間 信行
	上席研究員	伊藤 彰		上席研究員	高木 誠
	上席研究員	河部 千香		上席研究員	齊藤 和明
	会計年度任用職員	3名		主任研究員	井出 達樹
(事)は事務職員、その他は技術職員(会計年度任用職員を除く)					

エ 浜松工業技術支援センター

課科	事務職員	技術職員	会計年度任用職員
センター長		1	
研究統括官		1	
分室長	1		
総務担当	2		1
技術支援担当		1	2
光		5	
機械電子		8	2
材料		6	4
繊維高分子材料		5	3
合計	3	27	12

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		松田 稔	機械電子科	主 任	三浦 清
研究統括官		宮原 鐘一		主 任	鈴木 一之
総務課分室長(事)		澤木 竜彦		主任研究員	鈴木 悠介
総務担当	主 査(事)	内藤 由衣希	会計年度任用職員 2名		
	主 任(事)	増田 敏之	材料科	科 長	木野 浩成
会計年度任用職員 1名				上席研究員	吉岡 正行
技術支援担当	主任研究員	山口 智久		上席研究員	田光 伸也
	会計年度任用職員 2名			上席研究員	植松 俊明
光科	科 長	渥美 博安		研究員	長田 貴将
	上席研究員	鷺坂 芳弘	研究員	小粥 基晴	
	上席研究員	山下 清光	会計年度任用職員 4名		
	上席研究員	中野 雅晴	繊維高分子材料科	科 長	鈴木 重好
上席研究員	志智 亘	上席研究員		針幸 達也	
機械電子科	科 長	長谷川 和宏		主 任	植田 浩安
	上席研究員	山田 浩文		主任研究員	森田 達弥
	上席研究員	太田 幸宏		研究員	大木 結以
	上席研究員	長津 義之	会計年度任用職員 3名		
上席研究員	上野 貴康	(事)は事務職員、その他は技術職員(会計年度任用職員を除く)			

(6) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算

ア 工業技術研究所

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	24,450	24,450 (証紙40,442,420)	0	
財 産 収 入	594,000	594,000	0	
諸 収 入	9,501,223	9,501,223	0	
計	10,119,673	10,119,673 (証紙40,442,420)	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	10,417,911	10,417,911	0	
健康福祉費	22,332	22,332	0	
経済産業費	231,375,165	231,375,165	0	
計	241,815,408	241,815,408	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	10,417,911 円
○健康福祉費	感染症対策費	22,332 円
○経済産業費	経済産業費	7,990 円
	産業革新費	36,775,925 円
	商工業費	194,588,890 円
	農業費	2,360 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 (独立行政法人 日本学術振興会)	公募競争型資金活用研究事業費	877,819
	工業技術研究所試験研究費	803,404
省エネルギー等に関する国際標準の獲得・普及促進事業委託費 (省エネルギー等国際標準開発 (国際電気標準分野)) (経済産業省)	工業技術研究所試験研究費	1,763,856
公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業 ((公財) J K A)	工業技術研究所試験検査機器整備事業費 (機器名：恒温精密万能試験機)	15,840,000
公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業 ((公財) J K A)	工業技術研究所試験検査機器整備事業費 (機器名：塩乾湿複合サイクル試験機)	20,900,000
先端企業育成プロジェクト推進事業費補助金 (県新産業集積課)	工業技術研究所試験研究費	399,300

課題提案型研究助成 ((公財)スズキ財団)	工業技術研究所試験研究費	333,500
新成長産業戦略的育成事業 ((公財)静岡県産業振興財団)	工業技術研究所試験研究費	532,400
MaOI 事業化トライアル支援事業「MaOI-FS」 ((-財)マリンオープンイノベーション機構)	工業技術研究所試験研究費	999,993

イ 沼津工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	不納欠損額	備 考
使用料・手数料	1,659,080	1,659,080 (証紙11,140,520)	0	0	
財 産 収 入	38,830	38,830	0	0	
諸 収 入	2,546,998	2,546,998	0	0	
計	4,244,908	4,244,908 (証紙11,140,520)	0	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	1,927,311	1,927,311	0	
健康福祉費	13,580	13,580	0	
経済産業費	91,219,855	91,219,855	0	
計	93,160,746	93,160,746	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	1,927,311 円
○健康福祉費	感染症対策費	13,580 円
○経済産業費	経済産業費	4,620 円
	産業革新費	3,611,392 円
	商工業費	87,603,843 円

ウ 富士工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	1,996,020	1,996,020 (証紙 12,493,220)	0	
財 産 収 入	224,999	224,999	0	
諸 収 入	2,219,078	2,219,078	0	
計	4,440,097	4,440,097 (証紙 12,493,220)	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	8,511,222	8,511,222	0	
健康福祉費	18,220	18,220	0	
経済産業費	123,636,517	123,636,517	0	
計	132,165,959	132,165,959	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	8,511,222 円
○健康福祉費	感染症対策費	18,220 円
○経済産業費	経済産業費	6,400 円
	産業革新費	24,171,194 円
	商工業費	99,458,923 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 (独立行政法人 日本学術振興会)	工業技術研究所試験研究費	609,250

エ 浜松工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	3,149,730	3,149,730 (証紙 80,573,980)	0	
財 産 収 入	38,940	38,940	0	
寄 附 金	1,800,000	1,800,000	0	
諸 収 入	5,513,394	5,513,394	0	
計	10,502,064	10,502,064 (証紙 80,573,980)	0	

(イ) 歳出 (人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	4,748,687	4,748,687	0	
健康福祉費	61,260	61,260	0	
経済産業費	367,434,251	367,434,251	0	
計	372,244,198	372,244,198	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	4,748,687 円
○健康福祉費	感染症対策費	61,260 円
○経済産業費	経済産業費	35,780 円
	産業革新費	158,672,955 円
	商工業費	208,725,516 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県 事 業 名	事業費
科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 (独立行政法人日本学術振興会)	工業技術研究所試験研究費	650,000
公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業 (公益財団法人 J K A)	工業技術研究所試験検査機器整備事業費 (機器名：速度制御熱分析装置)	19,514,000 (13,009,000)
第34回研究助成金 (一般財団法人東海産業技術振興財団)	公募競争型資金活用研究事業費 工業技術研究所研究機器等整備事業費	1,800,000

()内の数字は、事業費のうちの補助額。

(7) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備（金額1,000千円以上）

品名	所属	購入金額 (千円)	事業名	区分
複合サイクル試験機	本所	20,900	機械工業育成機器整備事業費(公益財団法人JKA) 工業技術研究所試験検査機器整備事業費(公益財団法人JK A)	団体補助
恒温精密万能試験機	本所	15,840		
速度制御熱分析装置	浜松	19,514		
低湿度型低温恒温恒湿槽	本所	10,560	技術研究所施設備品等整備事業費	県単独
イオンクロマトグラフ	本所	4,290		
3Dデジタイザ(ハンディ)	本所	4,508	新成長戦略研究推進事業	
塩水噴霧(複合サイクル)試験機	沼津	9,295	工業技術研究所試験検査機器整備事業費	
複合サイクル試験機	浜松	8,976		
射出成形機	富士	19,998	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業	
金属3Dプリンタシステム(金属積層造形システム)	浜松	109,989	EV・自動運転化等技術革新対応促進事業費	
ワイヤーカット放電加工機(金属積層造形システム)	浜松	3,641		
ブラスト装置(金属積層造形システム)	浜松	1,683		
ミリング加工機(金属積層造形システム)	浜松	13,090		

2 事業実績

(1) 試験研究、調査及び指導事務

ア 研究開発

(ア) 研究課題

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの研究課題数

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金 による 研究	競争的 資金 以外の 研究	
工業技術研究所	4	9	6	5	7	31
沼津工業技術 支援センター	1	0	2	0	4	7
富士工業技術 支援センター	1	1	6	0	0	8
浜松工業技術 支援センター	3	4	5	0	8	20
合計	9	14	19	5	19	66

(a) 工業技術研究所の研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
金属材料科	0	2	1	2	1	6
化学材料科	0	0	3	0	0	3
機械電子科	1	0	1	0	0	2
照明音響科	1	1	0	1	0	3
食品科	2	3	0	1	0	6
環境エネルギー科	0	1	0	0	4	5
ユニバーサルデザイン科	0	0	1	0	0	1
工芸科	0	2	0	1	2	5
合計	4	9	6	5	7	31

(b) 沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
バイオ科	1	0	1	0	2	4
機械電子科	0	0	1	0	2	3
合計	1	0	2	0	4	7

(c) 富士工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
製紙科	0	1	1	0	0	2
CNF科	1	0	3	0	0	4
機械電子科	0	0	2	0	0	2
合計	1	1	6	0	0	8

(d) 浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
光科	1	2	2	0	0	5
機械電子科	0	1	2	0	0	3
材料科	1	1	1	0	7	10
繊維高分子材料科	1	0	0	0	1	2
合計	3	4	5	0	8	20

b 令和4年度研究課題名一覧
 (a) 工業技術研究所研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	食品科	
継続 R3～	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	照明音響科	
新規	設備、モノ、ヒトの統合的データ分析による生産性の効率化	機械電子科	
新規	静岡発ドライマンナンを用いた培養肉の開発	食品科	チャレンジ研究 枠
県単独研究			
継続 R2～	セルロースナノファイバーによる香り成分の徐放機構の解明及び放散制御技術の開発	食品科	科学研究費助成事業(学振)
継続 R3～	バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	金属材料科	
継続 R3～	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	食品科	科学研究費助成事業(学振)
継続 R3～	微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	環境エネルギー科	
継続 R3～	居住空間における木材・木製品等の変色に関する研究	工芸科	
継続 R3～	県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	工芸科	
新規	摩擦攪拌接合を適用した半熔融成形鋳物継手の技術開発	金属材料科	
新規	機械学習によるBRDFの高分解能化手法の開発	照明音響科	科学研究費助成事業(学振)
新規	抗炎症効果のある伊豆特産サクラ葉抽出物の素材化と作用機序解析	食品科	
一般共同研究			
継続 R2～	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	機械電子科	つながる工場テストベッド事業(産総研)
継続 R3～	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発	ユニバーサルデザイン科	
継続 R3～	アルミニウム鋳造品用異種素材の固相接合技術の研究開発	金属材料科	次世代自動車技術革新対応促進助成事業(財団)
新規	資源循環型システムを志向した樹脂複合材のテラヘルツ波による非破壊検査手法の開発	化学材料科	
新規	カーボンニュートラルに貢献するリサイクル樹脂複合材の開発	化学材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	自動車用途向けCNFオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	化学材料科	
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 R2～	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	金属材料科	先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）
継続 R2～	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	照明音響科	国際標準化事業（経産省）
継続 R3～	バイオマス素材を原料とした白金担持炭素材料の燃料電池発電特性	工芸科	課題提案型研究助成（スズキ財団）
新規	エアコンの省エネ性能を躍進する軽量高剛性スクロールの量産化システムの開発	金属材料科	新成長産業戦略的育成事業助成事業事業化推進助成事業（財団）
新規	エラ抽出物の腸内細菌叢改善作用の研究	食品科	MaOI-FS（MaOI機構）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	ポリプロピレン(PP)/CNF複合材への高密着なめつき技術の開発	金属材料科	
新規	蒸留所から発生する高濃度廃液を利用した高効率メタン発酵手法の開発	環境エネルギー科	
新規	長期の連続式メタン発酵試験によるサプリメント製造残渣の適性評価	環境エネルギー科	
新規	バイオリファイナリーを活用した食品廃棄物再資源化のための可溶化技術の開発	環境エネルギー科	
新規	実験室規模水素発酵装置による水素生産最適条件の検討	環境エネルギー科	
新規	サウナ用ウッドジョイントデッキの耐熱・耐荷重試験	工芸科	
新規	木質活性炭への白金担持と燃料電池性能評価	工芸科	

注）学振：（独）日本学術振興会、産総研：（国研）産業技術総合研究所、財団：（公財）静岡県産業振興財団、経産省：経済産業省、県新産課：静岡県新産業集積課

(b) 沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	バイオ科	
一般共同研究			
継続 R3～	本県独自の清酒用種麴の開発フローの構築	バイオ科	
継続 R3～	二軸引張試験を活用した難成形材プレスシミュレーションの高精度化	機械電子科	
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	国産高麗人参エキスの微生物発酵による有効成分変換機構の解明	バイオ科	
新規	医療用金属材料の材料評価及び高温成形加工を活用した新たな加工方法の検討	機械電子科	
新規	温間プレス成形後の材料評価	機械電子科	
新規	自然界分離酵母のビール醸造適性評価	バイオ科	

(c) 富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
新規	プラスチック資源循環実現のためのCNF複合樹脂リサイクル技術の開発	CNF科	政策課題指定枠
県単独研究			
新規	加温処理による紙の低密度化に関する研究	製紙科	
一般共同研究			
継続 R3～	深層学習を用いた画像解析による牛群中での子牛の疾病検知システムの開発	機械電子科	科学研究費助成事業(学振)
新規	プラズマ照射によるクロム酸フリーめっき技術の開発	機械電子科	
新規	廃棄衣料をリサイクルするための製紙技術の開発	製紙科	
新規	マイクロ波減圧乾燥によるCNF濃縮技術の開発	CNF科	
新規	リファイナーを用いた低コストCNF製造技術の開発	CNF科	
新規	自動車用途向けCNFオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	CNF科	

注) 学振：(独)日本学術振興会

(d) 浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	繊維高分子材料科	
継続 R3～	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	光科	
新規	積層造形を活用した新たなものづくり技術の開発に向けた調査研究	材料科	政策課題枠
県単独研究			
継続 R2～	車載機器EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	機械電子科	
継続 R3～	多波長イメージングによる高速表面粗さ測定法の開発	光科	科学研究費助成事業(学振)
新規	EV向けコネクタ・スイッチ用めっきの特性向上に関する研究	材料科	
新規	レーザーピーニングのデータベースの構築	光科	
一般共同研究			
継続 R3～	高周波焼入ロボットの研究開発	機械電子科	産学官連携研究開発助成事業(財団)
継続 R3～	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	材料科	助成研究一般発展型(東海財団)
新規	中赤外線レーザーによる樹脂成形品切断技術の開発	光科	
新規	繊維への微細マーキングの高速化	光科	
新規	IoT・機械学習を活用した長期稼働機器の遠隔診断技術の開発	機械電子科	
受託研究(競争的資金以外の研究)			
新規	生分解性プラスチックの紡糸条件の検討と海洋生分解性の評価に関する研究	繊維高分子材料科	
新規	粉末冶金用金属粉末の粉体特性評価	材料科	
新規	撥液めっきにおけるめっき金属種の検討	材料科	
新規	輸送機器用部品向け結晶華飾処理技術の開発	材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新規	蓄熱材の熱物性評価	材料科	
新規	E PMA分析向け特殊形状試料固定用サンプルホルダーの作成	材料科	
新規	ガラスコーティング剤のアクセサリ類への適用と性能評価	材料科	
新規	セメントタイトの析出形態に及ぼす熱処理条件の影響	材料科	

注) 学振：(独)日本学術振興会、経産省：経済産業省、JST：(国研)科学技術振興機構、
財団：(公財)静岡県産業振興財団、東海財団：(一財)東海産業技術振興財団

(イ) 外部研究員招へい事業

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	人数	指導時間
工業技術研究所	11	63
沼津工業技術支援センター	6	27
富士工業技術支援センター	3	32
浜松工業技術支援センター	5	51
合計	25	173

b 外部研究員一覧

(a) 工業技術研究所外部研究員

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導時間 (計画)
ありなす	分析化学、複合材料、高分子	赤外分光分析を用いた高分子材料の評価法	4
鳥取大学	糖質化学、糖鎖の化学合成、糖鎖の単離と構造決定	食品・天然物の糖鎖分析に関する手法について	4
静岡大学	木材及びその接着技術	ダンピング試験機による木材接着評価について	12
早稲田大学	人間生活工学 安全人間工学 経営システム工学	安全人間工学の理論と技術	3
関東学院大学	材料工学	高密着な樹脂めっき作製方法について	8
常葉大学	栄養化学 食品機能学	食品成分の機器分析	8
静岡県立大学	食品工学	クリープメータによる食品の物性測定について	4
静岡大学	地球微生物学	食品残渣を原料とした微生物発酵によるバイオガス生産について	4
産業技術総合研究所	医療福祉工学	福祉機器開発について	4
静岡大学	環境微生物学	食品残渣を原料とした微生物発酵によるバイオガス生産について	4
株式会社 TEK	CAE 技術	工芸分野への CAE 技術の応用	8
合計 11 人		合計 63 時間	

(b) 沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導 時間 (計画)
(独) 酒類総合研究所	応用微生物学	醸造用酵母に関するゲノム解析及び育種手法について	3
サレジオ工業高等専門学校	生体高分子材料	生体高分子材料の成型方法及び医療機器への応用について	4
東京農業大学	醸造学	酒類製造技術及び関連試験手法について	6
東京農業大学	醸造学	製麴試験について	3
東北大学	生体適合性材料	医療用材料の加工技術について	4
静岡大学大学院	塑性加工	二軸及び単軸引張試験結果に基づく降状局面の作成	7
合計 6 人		合計 27 時間	

(c) 富士工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導 時間 (計画)
沼津工業高等専門学校	振動工学、信号処理技術	PyTorch の基礎、牛の疾病検知に関する研究、深層学習・機械学習の手法について	12
(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	廃棄衣料をリサイクルするための製紙技術の開発	4
東京農工大学大学院	紙パルプ科学、セルロース科学、ナノ材料学	加温処理による紙の低密度化に関する指導、製紙概要	16
合計 3 人		合計 32 時間	

(d) 浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受ける内容	指導 時間 (計画)
合同会社 EMCDOC	EMC 関連	車載機器の EMC 測定試験のノウハウについて	6
近畿大学	金属材料	金属 3D プリンタの造形と評価方法	1 2
兵庫県立大学	金属粉末	金属粉末の作製と評価方法	9
福島テック	高分子材料 複合材料	高分子材料の成形加工技術	1 2
理化学研究所	高分子材料	高分子材料の成形加工技術	1 2
合計 5 人		合計 5 1 時間	

(ウ) 特許等の登録及び出願

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計（令和5年3月31日現在）

	出願中件数	登録件数
工業技術研究所	9	22 ¹⁾
沼津工業技術支援センター	0	2
富士工業技術支援センター	0	4
浜松工業技術支援センター	5 ²⁾	13 ³⁾
合計	14	41

1) 意匠登録2件を含む。（内1件は外国での意匠登録）

2) 外国で特許出願中の4件を含む。

3) 外国登録特許6件を含む。

b aのうち特許等出願、登録及び消滅件数

	出願件数	登録件数	消滅件数
工業技術研究所	2	1	3
沼津工業技術支援センター	0	1	0
富士工業技術支援センター	0	1	0
浜松工業技術支援センター	0	0	2
合計	2	3	5

イ 技術相談等

(ア) 技術相談

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの相談件数合計

	工業技術研究所	沼津工業技術支援センター	富士工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター	合計
技術相談	14,482	2,712	3,968	11,601	32,763
実地指導	1,313	200	282	207	2,002
合計	15,795	2,912	4,250	11,808	34,765

(a) 工業技術研究所の相談件数

所属	金属材料科	化学材料科	機械電子科	照明音響科
技術相談	1,375	2,421	1,253	1,582
実地指導	48	63	90	51
合計	1,423	2,484	1,343	1,633
所属	食品科	環境エネルギー科	ユニバーサルデザイン科	工芸科
技術相談	2,666	1,228	1,656	2,048
実地指導	354	244	196	181
合計	3,020	1,472	1,852	2,229
所属	その他	合計		
技術相談	253	14,482		
実地指導	86	1,313		
合計	339	15,795		

(b) 沼津工業技術支援センター相談件数

所属	バイオ科	機械電子科	その他	合計
技術相談	486	2,135	91	2,712
実地指導	183	7	10	200
合計	669	2,142	101	2,912

(c) 富士工業技術支援センター相談件数

所属	製紙科	CNF科	機械電子科	その他
技術相談	1,735	632	1,451	150
実地指導	45	62	74	101
合計	1,780	694	1,525	251
所属	合計			
技術相談	3,968			
実地指導	282			
合計	4,250			

(d) 浜松工業技術支援センター相談件数

所属	光科	機械電子科	材料科	繊維高分子材料科
技術相談	591	3,953	4,770	1,904
実地指導	26	18	103	39
合計	617	3,971	4,873	1,943
所属	その他	合計		
技術相談	383	11,601		
実地指導	21	207		
合計	404	11,808		

(イ) 依頼試験

a 依頼試験内訳（工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計）

		件 数	金 額(円)
1 分析	定性分析	1,907	11,157,910
	定量分析	681	3,054,630
2 工業用材料	材料強度試験	717	1,869,830
	長期性能試験	30,448	7,622,860
	特殊試験	960	5,075,850
3 木材工業	木材試験	64	458,160
	塗料試験	8	11,840
	製品試験	325	1,279,860
4 化学工業	金属表面処理試験	61	256,160
	プラスチック及びゴム試験	0	0
	微生物試験	5	21,950
	セラミックス試験	0	0
	熱勘定試験	0	0
5 機械金属工業	精密測定	77	273,130
	機械器具の検査及び試験	423	2,321,460
	金属試験	334	1,518,440
	電気試験	0	0
6 包装材料	包装材料試験	0	0
7 繊維工業	繊維材料試験	1	3,570
	編織試験	82	244,370
	染色試験	0	0
	整理仕上加工試験	0	0
8 製紙工業	原材料試験	83	970,170
	紙質試験	267	732,960
	製紙及び紙加工試験	16	152,880
9 加工	塗装加工	0	0
	木竹材加工	5	16,540
10 設計及び調整	機械等の設計及び調整	306	830,820
	繊維デザイン	0	0
	商業及び工業デザイン	8	29,320
11 写真及び複写		247	118,320
12 成績書の複本		19	10,780
合 計		37,044	38,031,810

(a) 工業技術研究所の依頼試験実績

		件 数	金 額(円)
1 分析	定性分析	432	4,297,100
	定量分析	524	1,906,570
2 工業用材料	材料強度試験	439	1,212,660
	長期性能試験	9,363	2,377,210
	特殊試験	659	3,430,510
3 木材工業	木材試験	64	458,160
	塗料試験	8	11,840
	製品試験	325	1,279,860
4 化学工業	金属表面処理試験	14	102,060
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定	4	4,560
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験	69	474,980
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工	5	16,540
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	1	20,140
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン	8	29,320
11 写真及び複写		24	720
12 成績書の複本			
合 計		11,939	15,622,230

(b) 沼津工業技術支援センターの依頼試験実績

		件 数	金 額(円)
1 分析	定性分析	94	607,320
	定量分析	25	80,410
2 工業用材料	材料強度試験	51	221,520
	長期性能試験	6,338	1,678,480
	特殊試験	38	76,910
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験	5	21,950
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定	73	268,570
	機械器具の検査及び試験	423	2,321,460
	金属試験	49	177,250
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	3	16,470
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真及び複写		16	4,690
12 成績書の複本			
合 計		7,115	5,475,030

(c) 富士工業技術支援センターの依頼試験実績

		件 数	金 額(円)
1 分析	定性分析		
	定量分析		
2 工業用材料	材料強度試験	2	2,780
	長期性能試験	1,838	404,150
	特殊試験		
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定		
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験		
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験	83	970,170
	紙質試験	267	732,960
	製紙及び紙加工試験	16	152,880
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製		
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真及び複写			
12 成績書の複本		19	10,780
合 計		2,225	2,273,720

(d) 浜松工業技術支援センターの依頼試験実績

		件 数	金 額(円)
1 分析	定性分析	1,381	6,253,490
	定量分析	132	1,067,650
2 工業用材料	材料強度試験	225	432,870
	長期性能試験	12,909	3,163,020
	特殊試験	263	1,568,430
3 木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4 化学工業	金属表面処理試験	47	154,100
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミック試験		
	熱勘定試験		
5 機械金属工業	精密測定		
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験	216	866,210
	電気試験		
6 包装材料	包装材料試験		
7 繊維工業	繊維材料試験	1	3,570
	編織試験	82	244,370
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8 製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9 加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	302	794,210
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11 写真及び複写		207	112,910
12 成績書の複本			
合 計		15,765	14,660,830

(ウ) 機器使用等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの機器使用等の実績合計

		時間数	金額(円)
機器使用		65,144	93,542,030
研修施設等使用	研修施設	373	524,050
	無響室	173	648,750
	電波暗室	587	4,183,900
	車載機器用EMS電波暗室	305	1,647,000
	車載機器用EMI電波暗室	888	4,514,700
	B C I 試験室 (シールドルーム)	176	705,900
	車載機器試験用シールドルーム	225	1,025,700
合 計		67,871	106,792,030

(a) 工業技術研究所の機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		20,875	24,629,640
研修施設等使用	研修施設	98	96,800
	無響室	25	93,750
合 計		20,998	24,820,190

(b) 沼津工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		3,239	5,586,290
研修施設		50	79,200
合 計		3,289	5,665,490

(c) 富士工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		4,617	10,133,150
研修施設		177	260,050
合 計		4,794	10,393,200

(d) 浜松工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		36,413	53,192,950
研修施設等使用	研修施設	48	88,000
	無響室	148	555,000
	電波暗室	587	4,183,900
	車載機器用EMS電波暗室	305	1,647,000
	車載機器用EMI電波暗室	888	4,514,700
	B C I 試験室 (シールドルーム)	176	705,900
	車載機器試験用シールドルーム	225	1,025,700
合 計		38,790	65,913,150

(エ) 研究会の育成

a 工業技術研究所

研究会名	発足年月	会員数
静岡県プレス技術研究会	昭和44年 6月	37社
静岡県食品技術研究会	昭和47年12月	111社・個人・団体
静岡県資源環境技術研究会	昭和44年11月	72社・人
静岡県プラスチック技術研究会	平成 2年 6月	32社・人
静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	平成 7年 5月	36社

b 沼津工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
静岡県東部精密技術研究会	平成 2年 6月	35社・団体
静岡県バイオテクノロジー研究会	昭和59年 9月	26社・個人・団体

c 富士工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
静岡県紙パ技術研究フォーラム	昭和62年 9月	10社

d 浜松工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
浜松機械技術研究会	昭和39年12月	61社
表面技術研究会	昭和60年 8月	38社
浜松繊維加工技術研究会	平成 7年 7月	13社
浜松品質工学研究会	平成 9年 3月	15人
浜松EMC研究会	平成20年 6月	21社
浜松地域CFRP事業化研究会	平成21年 4月	47社
はままつ超ハイテン研究会	平成28年 6月	15社

(オ) 研修生の受入れ

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

単位：人

	一般研修	就業体験研修	連携大学院
工業技術研究所	5	4	0
沼津工業技術支援センター	0	0	0
富士工業技術支援センター	0	0	0
浜松工業技術支援センター	6	0	0
合計	11	4	0

(a) 工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	発酵により産生される化合物の同定並びに有用性の評価	令和4年5月1日～ 令和5年3月31日	県内大学 1人
食品科	匂い嗅ぎGC/MSによる畜肉香気の分析	令和4年5月1日～ 令和5年3月31日	県内大学 1人
工芸科	接着性能に関する評価方法を習得他	令和4年5月1日～ 令和5年3月31日	県内大学 1人
工芸科	接着性能に関する評価方法を習得他	令和4年5月1日～ 令和5年3月31日	県内大学 1人
工芸科	シャルピー試験による広葉樹の曲げ衝撃エネルギー測定法を習得	令和4年10月17日～ 令和4年3月31日	県内大学 1人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	食品科業務体験	令和4年9月7日～ 令和4年9月13日	県内大学 1人
食品科	食品科業務体験	令和4年9月7日～ 令和4年9月13日	県内大学 1人
食品科	食品科業務体験	令和4年9月8日～ 令和4年9月13日	県内大学 1人
食品科	食品科業務体験	令和4年9月8日～ 令和4年9月13日	県内大学 1人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

(b) 浜松工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
材料科	熱処理技術及び材料試験	令和4年11月11日～ 令和4年12月8日	県内企業 6名
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

ウ 技術情報提供

(ア) 研究報告関係

研究成果事例集	展示会での閲覧及び協議会等で配布 ホームページに掲載
工業技術研究所研究報告	800部

(イ) 研究発表会関係

研 究 発 表 会	工業技術研究所	開催年月日	R5. 3. 9-10
		参加者数	167人
		要旨集	工技研及びWebで公開
	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	工技研と合同開催
		参加者数	—
		要旨集	—
	富士工業技術 支援センター	開催年月日	R5. 3. 8
		参加者数	112人
		要旨集	発行50部及びWebで公開
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	R5. 3. 7
		参加者数	82人
		要旨集	発行4部及びWebで公開

(a) 令和4年度静岡県工業技術研究所研究発表会の実績（令和5年3月9日～令和5年3月10日）

テーマ名	発表者
海洋微生物を利用した食品開発① ー乳酸菌を用いた発酵ハバネロソースの開発ー	堀池 隼雄
海洋微生物を利用した食品開発② ーチーズや発酵甘酒等を事例とした発酵食品の開発スキームー	袴田 雅俊
海洋由来微生物を活用した食品開発③ー生醗系清酒用微生物の選抜ー	横澤 賢
海洋由来微生物を活用した食品開発④ー選抜株による生醗系酒母の試作ー	勝山 聡
県内酒造業界へのWEB会議システムを活用した支援について	鈴木 雅博
ゲノム編集で乳酸菌のGABA生産能を向上できるか?	高木 啓詞
凍結融解技術”を用いた豆乳エマルジョン制御の可能性	松野 正幸
水産物由来コラーゲンペプチド投与の Maus 腸管 IgA 産生促進作用	長房 秀幸
静岡発ドライマンナンを用いた培養肉の開発に関する基礎的検討	長房 秀幸
熱間鍛造後の金属組織の予測技術の開発	是永 宗祐
二軸引張試験等の導入による高精度プレス成形シミュレーションの実施	船井 孝

テーマ名	発表者
工業技術研究所のIoT導入支援について (静岡県IoT推進ラボ第四期の紹介)	赤堀 篤
IoT大学連携講座による導入支援	岩崎 清斗
数理最適化による生産計画の自動作成	松下 五樹
模擬食品廃棄物を原料とした微生物発酵による水素生産の試み -水素発酵装置の構築と水素ガス発生量の「見える化」-	井口 大輔
微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	岡本 哲志
コミュニケーションライティングの実用化に向けた映像投影技術の開発	豊田 敏裕
精密で微細な光学部品の量産技術に関するフィジビリティスタディ -光造形×精密電気鋳造による金型試作-	豊田 敏裕
非接触形状測定機における傾斜面の粗さ測定性能について-光干渉計と共焦点顕微鏡の測定誤差の評価-	柳原 亘
光干渉式測定機による傾斜面の形状測定 -傾斜基準面を用いた角度測定範囲の拡張	中野 雅晴
マイクロプリズムアレイの形状誤差が投影像に与える影響	志智 亘
物体表面凹凸の違いが反射特性に与える影響	田代 知範
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	鈴木 重好
金属材料科の機器の紹介-強度試験と破断面観察-	鈴木 洋光
バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	田中 宏樹
半熔融成形アルミニウム合金を用いた摩擦攪拌接合継手の特性	岩澤 秀
セルロースナノファイバーを用いた自動車用湿式摩擦材の開発	菅野 尚子
フラッシュ法による樹脂発泡体の熱伝導率測定の検討	望月 智文
セルロース繊維を強化材としたリサイクル樹脂複合材の開発	小泉 雄輔
プラスチック成形品における異材混入による物性への影響	野澤 遼
2軸押出混練によるポリプロピレンの劣化について	望月 智文
介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発に向けた調査	易 強
居住空間での木製品の変色の検討(2)	村松 重緒
県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	菊池 圭祐

(b) 令和4年度富士工業技術支援センター研究発表会の実績（令和5年3月8日）

テーマ名	発表者
資源循環実現のためのCNF複合樹脂リサイクル性評価	田中 翔悟
TEMPO酸化CNFに関する産業支援の取組について	中島 大介
マイクロ波減圧乾燥によるCNF濃縮技術の開発	山崎 利樹
加温処理による紙の低密度化に関する現象について	河部 千香
廃棄衣料コットンを原料とした紙の開発について	伊藤 彰
クロム酸を使わないプラスチックめっき	高木 誠
AIを用いたスマート畜産への取組について	井出 達樹

(c) 令和4年度浜松工業技術支援センター研究発表会の実績（令和5年3月7日）

テーマ名	発表者
ナノ秒レーザーピーニングの変形特性（レーザーピーニングの簡易評価法の検討）	鷺坂 芳弘
繊維への微細カラーマーキングのための光学系構築と染料層の厚さ制御方法の検討	山下 清光
2次元色彩計を応用した金属加工面の表面粗さ推定	中野 雅晴
車載電子機器のアンテナ照射試験における低周波(80MHz以下)領域への周波数拡大の検討	山田 浩文
IoT・機械学習を活用した機器の稼働状態評価（第1報）	太田 幸宏
高周波焼入ロボットの研究開発	鈴木 悠介
EV向けコネクタ・スイッチ用めっきの特性向上に関する研究	長田 貴将
めっきを利用した鉄-アルミニウムのスポット溶接技術の開発	田光 伸也
積層造形を活用した新たなモノづくり技術の開発に向けた調査研究	田光 伸也
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	鈴木 重好
細断したUDテープを用いたCFRTPのトランスファ成形	森田 達弥
X線CTによるCFRTPの繊維配向観察	針幸 達也

(ウ) 研究所情報等の提供

刊行物名	発行部数 (部)	ホームページ 掲載
工業技術研究所各科紹介チラシ	—	○
沼津工業技術支援センターニュース	—	○
富士工業技術支援センターニュース	—	—
富士工業技術支援センター利用案内	—	—
浜松工業技術支援センターニュース	1,500	○
静岡県工業技術情報	—	○
静岡県工業技術研究所年報	—	○
静岡県工業技術研究所メールマガジン(2週間に1回発行)	25回	—

(エ) 研究所の事業広報等

見学の受入	工業技術研究所		156人
	沼津工業技術支援センター		194人
	富士工業技術支援センター		94人
	浜松工業技術支援センター		473人
「県民の日」	工業技術研究所	開催年月日	R4. 8. 5
		参加者数	40人
研究所 フェア	沼津工業技術支援センター	開催年月日	R4. 8. 5
		参加者数	19人
及び センター フェア	富士工業技術支援センター	開催年月日	R4. 8. 5
		参加者数	60人
	浜松工業技術支援センター	開催年月日	R4. 8. 5
		参加者数	102人

(オ) 講習会等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	実施回数	参加者数
工業技術研究所	23	1,468
沼津工業技術支援センター	6	136
富士工業技術支援センター	9	185
浜松工業技術支援センター	17	650
合計	55	2,439

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^(※)	共催等	
R4.4.26	光学部品計測セミナー	工業技術研究所	24	—	
R4.4.27	走査型電子顕微鏡の概要と活用事例	工業技術研究所	36	静岡県プレス技術研究会	
R4.11.9		工業技術研究所	81		
R4.6.7	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	10	静岡県IoT導入推進コンソーシアム	
R4.8.29		浜松工業技術支援センター	10		
R4.11.29		沼津工業技術支援センター	9		
R4.6.23	食品技術研修会	第272回	Web開催及び札の辻クロスホール	91	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R4.10.7		第273回	Web開催及びホテルグランヒルズ静岡	722	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R4.11.2		第274回	Web開催及び札の辻クロスホール	107	静岡県食品技術研究会、静岡県食品産業協議会、静岡大学食品・生物産業創出拠点
R5.2.28		第275回	長野県5ヶ所・山梨県1ヶ所	17	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R4.7.27		静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会講習会	第1回	Web開催	11
R4.8.31	第2回		Web開催	6	
R4.9.28	第3回		Web開催	11	
R4.10.26	第4回		Web開催	5	
R5.2.1	第5回		Web開催	6	

年月日	件名	会場	参加人数※)	共催等
R5. 2. 22	静岡県ユニバーサルデザイン・工業研究会講習会 第6回	Web開催	4	静岡県ユニバーサルデザイン・工業研究会
R4. 9. 26	第11回排水処理技術セミナー	Web開催	118	静岡県資源環境技術研究会 静岡県環境保全協会 静岡市資源環境保全推進協力会
R4. 12. 1	第26回分析技術研修会	Web開催	38	静岡県資源環境技術研究会、(一財)静岡県計量協会環境計量証明部会
R5. 1. 13	プラスチック資源循環セミナー	Web開催	43	静岡県プラスチック技術研究会、静岡県資源環境技術研究会
R5. 2. 3	腐食促進試験の概要と複合サイクル試験機の活用	Web開催	51	静岡県プラスチック技術研究会、静岡県資源環境技術研究会
R5. 2. 8	脱炭素経営に関するWeb学習会	Web開催	36	静岡県資源環境技術研究会、静岡県プラスチック技術研究会
R5. 3. 2	スモールスタートIoTセミナー	Web開催	9	株式会社特電
R5. 3. 14	プラスチック技術講習会	工業技術研究所	23	静岡県プラスチック技術研究会
実施回数 23回			参加者数 1,468人	

※) Web開催については、接続端末数

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数※)	共催等
R4. 6. 30	令和4年度静岡県バイオテクノロジー研究会特別講演会	沼津工業技術支援センター	22	静岡県バイオテクノロジー研究会
R4. 7. 15	セミナー「IoT技術の導入で変わるモノづくり現場」	沼津工業技術支援センター	28	沼津センター協議会
R4. 7. 22	ひずみゲージ活用セミナー	沼津工業技術支援センター	13	沼津センター協議会
R4. 8. 26	高速液体クロマトグラフ分析セミナー	沼津工業技術支援センター	4	沼津センター協議会
R4. 8. 31	令和4年度酒造研修	Web開催	49	静岡県酒造組合、静岡県杜氏研究会
R4. 12. 6	令和4年度静岡県バイオテクノロジー研究会企業発表会・講演会	静岡県男女共同参画センターあざれあ	20	静岡県バイオテクノロジー研究会
実施回数 6回			参加者数 136人	

※) Web開催については、接続端末数

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R4. 5. 26	静岡県紙パ技術研究フォーラム勉強会	富士工業技術支援センター	17	静岡県紙パ技術研究フォーラム
R5. 3. 22			16	
R4. 10. 27	紙パルプ技術セミナー	第1回 富士工業技術支援センター	27	富士センター協議会
R5. 1. 24		第2回 Web開催	53	富士センター協議会
R4. 9. 9	新規事業・市場開拓の戦略	Web開催	15	富士センター協議会
R5. 2. 14	中小企業におけるAI活用の障壁と実践	Web開催	26	富士センター協議会
R5. 3. 2- R5. 3. 29	ふじのくにCNFプロジェクトCNF技術者研修	富士工業技術支援センター	11	富士センター協議会
R5. 3. 17	CNF実践セミナー	富士工業技術支援センター	12	富士センター協議会、富士市CNFプラットフォーム、富士市
R5. 3. 24			8	
実施回数 9 回			参加者数 185人	

※) Web開催については、接続端末数

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R4. 5. 20	浜松品質工学研究会定例会	Web開催	15	浜松品質工学研究会
R4. 6. 17			15	
R4. 7. 29			12	
R4. 8. 26			13	
R4. 9. 16			19	
R4. 10. 28			16	
R4. 11. 25			16	
R4. 12. 23			13	
R5. 1. 27			12	
R5. 2. 24			15	
R4. 7. 15	パラメータ設計入門講座	Web開催	12	浜松品質工学研究会
R4. 8. 24	2022年度浜松地域CFRP事業化研究会講演会	浜松工業技術支援センター会議室 web会議 ハイブリッド	32	浜松地域CFRP事業化研究会
R4. 9. 30	MTシステム入門講座	Web開催	11	浜松品質工学研究会
R4. 10. 28	はままつ超ハイテン研究会講演会2022	プレスタワー	93	はままつ超ハイテン研究会
R5. 2. 3	金属3Dプリンタ活用セミナー1	静岡大学工学部佐鳴会館	91	浜松センター協議会
R5. 2. 24	金属3Dプリンタ活用セミナー2	Web開催	101	浜松センター協議会
R5. 3. 1 ～22	速度制御熱分析装置セミナー	Web開催 (YouTube配信)	164	浜松センター協議会
実施回数 17 回			参加者数 650 人	

※) Web開催については、接続端末数

(カ) 講師活動

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	活動回数	参加者数
工業技術研究所	14	516
沼津工業技術支援センター	10	455
富士工業技術支援センター	15	51
浜松工業技術支援センター	12	405
合計	51	1,427

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名		
R4.6.7	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	10	静岡県IoT導入推進コンソーシアム	岩崎 清斗		
R4.8.29		浜松工業技術支援センター	10				
R4.11.29		沼津工業技術支援センター	9				
R4.9.8	総合食品学講座	工業技術研究所	食品の保存と劣化のポイント	29	(公財)静岡県産業振興財団	長房 秀幸 石橋 佳奈	
			中間報告会	28		山下 里恵 長房 秀幸 石橋 佳奈	
R4.10.4			試作加工A、B	28		山下 里恵 松野 正幸 袴田 雅俊 長房 秀幸 石橋 佳奈 堀池 隼雄	
R4.10.6			試作加工C、D	28			
R4.10.13			試作品の評価	28			
R4.10.18			微生物試験	28			
R4.10.20			微生物試験	28			
R4.10.27			成果発表会	28			松野 正幸 堀池 隼雄
R4.11.2			シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会	札の辻クロスホール			140
R4.12.15	地域食材学B	Web開催	117	静岡県立大学	長房 秀幸		

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R4. 10. 26	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会（第4回講習会）	Web開催	5	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	田村 克浩
活動回数 14回			参加者数 516人		

※) Web開催については、接続端末数

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R4. 5. 15	門池地区連合自治会講演会	門池地区センター	10	門池地区連合自治会	勝山 聡
R4. 6. 7	第6回静岡クラフトビールの会	御殿場高原ビール株式会社グランテーブル	45	静岡クラフトビールの会	横澤 賢
R4. 7. 22	ひずみゲージ活用セミナー	沼津工業技術支援センター	13	沼津工業技術支援センター	是永 宗祐
R4. 8. 31	令和4年度酒造研修	Web開催	49	沼津工業技術支援センター 静岡県酒造組合 静岡県杜氏研究会	杉本 芳邦 勝山 聡 鈴木 雅博 横澤 賢
R4. 9. 3	静岡朝日テレビカルチャー三島スクール「オトナが学ぶ美味しい日本酒講座」	沼津工業技術支援センター	37	静岡朝日テレビカルチャー三島スクール	勝山 聡
R4. 9. 30	幾何公差実践活用編（実習）	沼津工業技術支援センター	3	工科短大沼津キャンパス	本多 正計 船井 孝
R4. 11. 2	シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会	札の辻クロスホール	140	静岡県食品技術研究会	横澤 賢
R4. 12. 27	冬休み門池ワクワク寺子屋	門池地区センター	38	門池コミュニティ推進委員会	杉本 芳邦 本多 正計 飯塚 千佳世 横澤 賢
R5. 2. 23	誉富士セミナー	ホテルグランヒルズ静岡	69	静岡県誉富士普及推進協議会	鈴木 雅博
R5. 2. 27	静岡大学グリーン科学技術研究所共同利用機器セミナー	Web開催	51	静岡大学グリーン科学技術研究所	高木 啓詞
活動回数 10回			参加者数 455人		

※) Web開催については、接続端末数

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R5. 3. 2	CNF技術者研修	富士工業技術支援センター	3	富士工業技術支援センター	前田 研司 山崎 利樹
R5. 3. 3			6		前田 研司 山崎 利樹
R5. 3. 7			2		前田 研司 山崎 利樹
R5. 3. 7			2		山崎 利樹
R5. 3. 15			2		田中 翔悟
R5. 3. 15			1		前田 研司
R5. 3. 16			3		田中 翔悟
R5. 3. 16			3		前田 研司
R5. 3. 20			2		田中 翔悟
R5. 3. 20			2		中島 大介
R5. 3. 23			2		中島 大介
R5. 3. 28			1		田中 翔悟
R5. 3. 29			2		山崎 利樹
R5. 3. 17	CNF実践セミナー	富士工業技術支援センター	12	富士センター協議会 富士市CNFプラットフォーム 富士市	中島 大介
R5. 3. 24	CNF実践セミナー	富士工業技術支援センター	8	富士センター協議会 富士市CNFプラットフォーム 富士市	田中 翔悟 中島 大介
活動回数 15 回			参加者数 51 人		

※) Web開催については、接続端末数

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場		主催	講師氏名
R4. 10. 6	第7回地方公設試験研究機関金属 AM 技術担当者会議	大阪産業技術研究所	22	大阪産業技術研究所	田光 伸也
R4. 10. 13	金属材料の基礎	天龍製鋸株式会社	15	天龍製鋸株式会社	植松 俊明
R4. 10. 24			15		
R4. 10. 27	レーザー中核人材 映像実習	FUSE (ザザシティー内)	47	光産業創成大学院大学	鷺坂 芳弘 山下 清光
R4. 11. 18	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 積層造形研究会	長崎県 ミライ on 図書館	50	光産業創成大学院大学	木野 浩成
R4. 11. 29	機器分析講義	静岡理工科大学	7	静岡理工科大学吉見研究室	吉岡 正行
R4. 12. 15	分析マイスター講義	静岡大学浜松キャンパス共同利用機器センター	10	静岡大学浜松キャンパス共同利用機器センター	吉岡 正行
R5. 1. 19	第3回デジタルものづくり研究会	オフィスパーク名駅プレミアムホール	30	中部経済産業局	木野 浩成
R5. 2. 3	金属3Dプリンタ活用セミナー	浜松工業技術支援センター大研修室	90	浜松工業技術支援センター	田光 伸也
R5. 3. 14			101		
R5. 3. 9	赤外分光分析の座学及び実習	DOWAメタル(株)	9	DOWAメタル(株)	吉岡 正行
R5. 3. 24	材料評価・解析の心構え	(株)サンコー分析センター	9	(株)サンコー分析センター	吉岡 正行
活動回数 12回			参加者数 405人		

※) Web開催については、接続端末数

(キ) 委員派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	60	60
沼津工業技術支援センター	28	43
富士工業技術支援センター	58	58
浜松工業技術支援センター	83	102
合計	229	263

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会場	主催	派遣者氏名
R4. 4. 18	鑄造工学会 東海支部 工場見学会	(Web)	日本鑄造工学会	岩澤 秀
R4. 5. 10				
R4. 5. 23				
R4. 4. 25	文献情報委員会	照明学会第二会議室 (東京)	一般社団法人照明学会	田代 知範
R4. 6. 20		(Web)		
R4. 8. 25				
R4. 10. 24				
R4. 12. 1				
R5. 2. 22				
R4. 5. 6	光学編集委員会	(Web)	一般社団法人日本光学学会	田代 知範
R4. 9. 9				
R4. 11. 4				
R5. 1. 6				
R5. 2. 13				
R5. 2. 21				
R5. 3. 10				
R4. 5. 12	第1部会国内小委員会	(Web)	一般社団法人日本照明工業会	田代 知範
R4. 7. 19				
R4. 6. 1	『シズオカ カグ アワード2022』審査	ツインメッセ静岡	静岡県家具工業組合	多々良 哲也

年月日	委員会等の名称	会場	主催	派遣者氏名
R4. 6. 2	中小企業研究開発助成事業 助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	杉山 直人
R4. 6. 3	産学共同研究委託事業選考 審査会	B-nest	静岡市産学交流セ ンター	田中 伸佳
R4. 6. 14				
R4. 6. 8	次世代自動車技術革新対応 促進助成事業助成金審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	杉山 直人
R4. 6. 10	食品等開発助成事業・化粧品 等研究開発推進事業助成 金審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	油上 保
R4. 6. 14	鑄造工学会 軽合金部会	(Web)	日本鑄造工学会	岩澤 秀
R4. 8. 9	鑄造工学会 軽合金部会	(Web)	日本鑄造工学会	岩澤 秀
R4. 6. 15	静岡エネルギー・環境懇談 会総会	ホテルアソシア静岡	静岡エネルギー・ 環境懇談会	杉山 直人
R4. 6. 16	加工食品輸出スタートアッ プ支援事業助成金審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	杉山 直人
R4. 6. 24	静岡市産学交流センター運 営委員会	B-nest	静岡市産学交流セ ンター	田中 伸佳
R4. 6. 24	ISO国内委員会	(Web)	(一社) 日本規格 協会	柳原 亘
R4. 9. 5				
R4. 10. 28				
R5. 2. 21				
R4. 6. 29	医療機器産業基盤強化推進 事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	杉山 直人
R4. 7. 7	全国食品関係試験研究場所 会長第1回役員会	(Web)	全国食品関係試験 研究場所会長	杉山 直人
R4. 7. 13	MaOI事業化助成事業審査委 員会	(Web)	静岡県	油上 保
R4. 7. 15	海洋技術開発補助金審査委 員会	(Web)	静岡県	油上 保
R4. 7. 20	静岡市新商品等開発事業補 助金審査会	静岡市役所	静岡市	中山 洋
R4. 8. 26	医療機器等開発可能性調査 審査会	書面	公益財団法人ふじ のくに医療城下町 推進機構	油上 保
R4. 8. 31	JIS素案作成委員会	(Web)	一般社団法人日本 規格協会	柳原 亘
R4. 12. 14				
R5. 3. 30				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 9. 9	2022グッドデザインしずおか一次審査	(Web)	静岡県	杉山 直人
R4. 9. 22	県科学技術振興表彰選考委員会	(Web)	静岡県	杉山 直人
R4. 9. 29 ～30	日本鑄造第180回全国講演大会	広島大学	日本鑄造工学会	岩澤 秀
R4. 10. 12	2021グッドデザインしずおか二次審査	(Web)	静岡県	杉山 直人
R4. 11. 12	軽金属学会第143回全国講演大会	(Web)	軽金属学会	岩澤 秀
R4. 12. 8	「自立のための3歩の住まい」標準設計マニュアルに関する意見交換会	ファルマバレーセンター	ファルマバレーセンター	易 強
R4. 12. 23	D2Cセミナー	(Web)	地域産業課	油上 保
R5. 1. 19	第3回溶接コンクール委員会	ポリテクセンター静岡	静岡県溶接工業協同組合	鈴木 洋光
R5. 2. 10	フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト戦略検討委員会	(Web)	静岡県	杉山 直人
R5. 2. 15	新成長産業戦略的育成事業推進会議	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山 直人
R5. 2. 19	静岡県溶接技術競技大会	ポリテクセンター静岡	静岡県溶接工業協同組合	鈴木 洋光
R5. 2. 22	溶接コンクールX線試験評価	JFEテクノス静岡事業所	静岡県溶接工業協同組合	鈴木 洋光
R5. 3. 2	静岡市福祉用具普及連絡会	静岡市リハビリテーション推進センター	静岡市リハビリテーション推進センター	易 強
R5. 3. 7	溶接コンクール曲げ試験評価	静岡県溶接工業協同組合	静岡県溶接工業協同組合	鈴木 洋光
R5. 3. 7	令和4年度総合食品学講座推進委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	山下 里恵
R5. 3. 9	第4回溶接コンクール委員会	ポリテクセンター静岡	静岡県溶接工業協同組合	鈴木 洋光
R5. 3. 14	経営革新計画承認審査委員会	県庁	経営支援課	油上 保
R5. 3. 16	海洋技術開発促進事業費補助金審査委員会	(Web)	産業イノベーション推進課	油上 保
派遣回数 60 回			派遣人数 (延べ)	60 人

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 5. 10	令和4年静岡県杜氏研究会 新酒研究会	沼津工業技術支援セ ンター	静岡県杜氏研究会	勝山 聡 鈴木 雅博
R4. 5. 18	令和4年静岡県清酒鑑評会	沼津工業技術支援セ ンター	静岡県酒造組合	大川 勝正 勝山 聡 鈴木 雅博
R4. 5. 18	令和4年度富士山麓産業支 援ネットワーク会議	(公財) ふじのくに 医療城下町推進機構 ファルマバレー セ ンター	(公財) ふじのく に医療城下町推進 機構ファルマバレ ー センター	飯塚 千佳世
R4. 7. 20		(Web)		
R4. 9. 28				
R4. 11. 22				
R5. 2. 8				
R5. 2. 28				
R4. 6. 7	第6回静岡クラフトビール の会	御殿場高原ビール グランテーブル	第6回静岡クラフト ビールの会	鬼久保 郁雄 杉本 芳邦 勝山 聡 横澤 賢
R4. 6. 13	令和4年静岡県清酒鑑評会 表彰式	ホテルアソシア静岡	静岡県酒造組合	大川 勝正 鬼久保 郁雄 杉本 芳邦 勝山 聡 鈴木 雅博
R4. 6. 21	静岡県誉富士普及推進会議 幹事会	(Web)	静岡県誉富士普及 推進会議幹事会	大川 勝正
R4. 6. 22	静岡県創業者育成施設(沼 津インキュベートセンタ ー)使用承認資格審査に係 る事前ヒアリング	沼津工業技術支援セ ンター	静岡県	鬼久保 郁雄 飯塚 千佳世
R4. 12. 1				
R4. 6. 27	2022年度富士山麓アカデミ ック&サイエンスフェア実 行委員会	(Web)	2022年度富士山麓 アカデミック&サイ エンスフェア実 行委員会	飯塚 千佳世
R5. 3. 29				
R4. 9. 22	静岡県科学技術振興表彰選 考委員会	静岡県庁	静岡県	大川 勝正
R4. 9. 27 ~28	令和4年度名古屋国税局酒 類鑑評会品質評価会	名古屋国税局	名古屋国税局	鈴木 雅博
R4. 11. 5	「発酵とサステナブルな地 域社会」研究所主催シンポ ジウム	静岡市産学交流セン ター	静岡大学 発酵と サステナブルな地 域社会研究所	勝山 聡

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 11. 16	静岡県科学技術振興表彰式	静岡県庁	静岡県	大川 勝正
R4. 12. 26	静岡県創業者育成施設入居 審査委員会	静岡県庁	静岡県	大川 勝正
R5. 2. 16	令和4年度ふじのくに先端 医療総合特区地域協議会	(Web)	ふじのくに先端医 療総合特区地域協 議会	大川 勝正
R5. 3. 13	令和5年静岡県杜氏研究会 新酒研究会	工業技術研究所	静岡県杜氏研究会	勝山 聡 鈴木 雅博
R5. 3. 14	令和5年愛知県新酒品評会	あいち産業科学技術 総合センター食品工 業技術センター	愛知県酒造組合	勝山 聡
R5. 3. 15	「富士山麓医用機器開発エ ンジンニア養成プログラム」 第14期生修了式	沼津工業高等専門学 校	国立高等専門学校 機構沼津工業高等 専門学校	大川 勝正
R5. 3. 15	第53回三重県新酒品評会	三重県工業研究所	三重県酒造組合	鈴木 雅博
R5. 3. 17	令和4酒造年度名古屋国税 局新酒の集約品質評価会	名古屋国税局	名古屋国税局	鈴木 雅博
R5. 3. 23	令和4年度ふじのくに先端 医療総合特区地域協議会 (書面決議)	(書面)	ふじのくに先端医 療総合特区地域協 議会	大川 勝正
R5. 3. 24	令和5年静岡県清酒鑑評会	工業技術研究所	静岡県酒造組合	大川 勝正 勝山 聡 鈴木 雅博
派遣回数 28回			派遣人数(延べ) 43人	

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 4. 20	静岡県紙パルプ技術協会運営委員会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4. 4. 22	岳南地域地下水利用対策協議会令和4年度第1回委員・幹事合同会議	富士市役所	岳南地域地下水利用対策協議会	飯野 修
R4. 4. 27	富士市CNF関連産業創出事業に係るアドバイザーボード	富士市役所	富士市	櫻川 智史
R4. 4. 27	富士市SDGsものづくり事業支援補助金審査委員会	富士市役所	富士市	櫻川 智史
R4. 5. 11	静岡県紙パルプ技術協会第1回理事会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4. 5. 12	紙パルプ技術協会木材科学委員会	(Web)	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4. 5. 17	静岡県紙業協会通常総会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙業協会	櫻川 智史
R4. 5. 18	令和4年度富士山麓産業支援ネットワーク会議	静岡県医療健康産業研究開発センター	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	三宅 健司
R4. 7. 20		(Web)		
R4. 6. 6	紙パルプ試験規格委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	深沢 博之
R4. 7. 14				
R4. 6. 7	静岡県紙パルプ技術協会総会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4. 6. 8	岳南地域地下水利用対策協議会	ふじさんめっせ	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4. 6. 13	CNF活用試作品開発事業費補助金に係る審査委員会	(Web)	静岡県	櫻川 智史
R4. 6. 13	富士ブランド推進会議	富士商工会議所	富士商工会議所	櫻川 智史
R4. 6. 23	紙パルプ技術協会研究発表会審査	(Web)	紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R4. 6. 27	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2022第1回実行委員会	(Web)	富士山麓A&Sフェア2022実行委員会	三宅 健司
R4. 6. 30	編集委員会	(書面)	紙パルプ技術協会	深沢 博之
R4. 7. 6	紙パルプ技術協会木材科学委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	櫻川 智史

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 7. 13	富士市SDGsものづくり 事業支援補助金審査委員会		(書面)	富士市	櫻川 智史
R4. 8. 17	富士市工業振興会議		富士市庁舎	富士市	櫻川 智史
R3. 10. 4			富士市消防防災庁 舎		
R5. 3. 23					
R4. 8. 24	富士市立博物館協議会		富士山かぐや姫ミ ュージアム	富士市立博物館	櫻川 智史
R5. 2. 2					
R4. 8. 25	県紙パルプ技術協会理事 会		ホテルグランド富 士	県紙パルプ技術協 会	櫻川 智史
R4. 12. 8					
R5. 3. 16					
R4. 8. 30	CNF活用試作品開発事業補 助金審査委員会		県庁	新産業集積課	櫻川 智史
R4. 9. 5	富士市CNF関連産業推進懇 話会		富士市役所	富士市	櫻川 智史
R4. 9. 12	紙パルプ技術協会木材科 学委員会		(Web)	紙パルプ技術協会	櫻川 智史
R5. 3. 1					
R4. 9. 26	静岡県一産総研の連携に 係る連絡会議		(Web)	産業技術総合研究 所イノベーション 推進本部地域連携 部関東地域室	櫻川 智史
R4. 9. 26	紙パルプ試験規格委員会		(Web)	紙パルプ技術協会	深沢 博之
R4. 10. 19					
R4. 11. 28					
R5. 3. 31			銀座区民会館		
R4. 9. 28	令和4年度富士 山麓産業支援ネ ットワーク会議	第3回	(Web)	(公財)ふじのく に医療城下町推進 機構ファルマバレ ーセンター	三宅 健司
R4. 11. 22		第4回			
R5. 2. 8		第5回			
R4. 10. 3	富士市CNFブランド認 定審査会		富士市役所	富士市	櫻川 智史
R5. 3. 29			(Web)		
R4. 10. 13	医療・福祉関連産業懇談 会		ラ・ホール富士	医療・福祉関連産 業懇談会運営員会	櫻川 智史
R4. 11. 17	繊維学会紙パル プ研究委員会研 究会	第276回	(Web)	繊維学会紙パル プ研究委員会	深沢 博之
R5. 3. 10		第277回			
R4. 11. 9	機能紙研究会企画・会誌 編集合同委員会		電気ビル(福岡 市)	機能紙研究会	深沢 博之

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 11. 10	機能紙研究発表・講演会		電気ビル（福岡市）	機能紙研究会	深沢 博之
R4. 11. 16	富士市発明くふう展表彰式		ラ・ホール富士	富士市	櫻川 智史
R4. 11. 16	編集委員会	第2回	(書面)	静岡県紙パルプ技術協会	深沢 博之
R5. 2. 14		第3回			
R4. 11. 17	県紙業振興大会		ホテルグランド富士	県紙業協会	櫻川 智史
R4. 12. 12	富士市産業経済問題懇話会		富士商工会議所	富士市	櫻川 智史
R4. 12. 14	岳南地域地下水利用対策協議会委員・幹事合同会議		富士市役所	岳南地域地下水利用対策協議会	櫻川 智史
R5. 1. 23	産業技術連携推進推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 紙・パルプ分科会		(Web)	産業技術連携推進推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 紙・パルプ分科会	飯野 修
R5. 2. 16	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会		(Web)	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	櫻川 智史
R5. 2. 20	富士市産業経済問題懇話会		富士商工会議所	富士市	櫻川 智史
R5. 3. 22	日本木材学会中部支部総会		(Web)	日本木材学会中部支部	櫻川 智史
R5. 3. 29	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2022第2回実行委員会		(Web)	富士山麓A&Sフェア2022実行委員会	三宅 健司
派遣回数 58回				派遣人数(延べ) 58人	

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名			
R4. 4. 21	随時級・基礎級技能検定 実技試験検定委員	丸長鍍金(株)浜松工 場	静岡県職業能力開 発協会	田光 伸也			
R4. 7. 22				三光製作(株)	鈴木 一之		
R4. 10. 18				(株)ゴトー理研			
R4. 10. 7							
R4. 8. 25				大佑工業(株)			
R4. 11. 4				丸長鍍金(株)浜松工 場		静岡県職業能力開 発協会	鈴木 一之 田光 伸也
R5. 3. 23							
R5. 1. 16				神谷理研(株)		鈴木 一之	
R5. 1. 16				三美鍍金工業(株)			
R5. 1. 26				(有)太陽メッキ工業 所			
R4. 12. 14				(有)鷺津メッキ工業 所			
R4. 5. 11				新規EMC規格対応WG		(Web)	KEC関西電子工業 振興センター
R4. 6. 10							
R4. 7. 7							
R4. 11. 2							
R4. 11. 9							
R4. 11. 21 ~22	KEC関西電子工業振 興センター						
R4. 12. 21	(Web)						
R5. 1. 26							
R5. 3. 2							
R4. 5. 17	はままつ次世代光・健康 医療産業創出拠点第79回 事業運営委員会 ワーキ ング会議	浜松医科大学	はままつ次世代 光・健康医療産業 創出拠点	山下 清光			
R4. 7. 19							
R4. 9. 20							
R4. 11. 29							
R5. 3. 14							
R4. 5. 19	車載機器計測精度分析WG	(Web)	KEC関西電子工業 振興センター	山田 浩文			
R4. 6. 8							
R4. 7. 25							
R4. 8. 29					JQA中部試験センタ ー		
R4. 9. 1 ~2					(Web)		
R4. 9. 12							
R4. 9. 21							
R4. 11. 28 ~29					ADOX福岡		
R4. 12. 8					(Web)		
R5. 1. 16							
R5. 2. 20							

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 5. 20	HFP定例会	第 1 回	浜松商工会議所会館	(一社) 静岡県繊維協会	鈴木 重好
R4. 6. 21		第 2 回			鈴木 重好
R4. 7. 22		第 3 回			鈴木 重好
R4. 8. 26		第 4 回			鈴木 重好
R4. 9. 20		第 5 回			鈴木 重好
R4. 11. 15		第 6 回			鈴木 重好
R4. 12. 20		第 7 回			鈴木 重好
R5. 1. 20		第 8 回			鈴木 重好
R4. 5. 20	静岡化学工学懇話会 令和 4 年度役員会・総会		スズキ歴史館	静岡化学工学懇話会	松田 稔
R4. 5. 24	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点令和 4 年度第 1 回事業運営委員会		浜松市役所	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下 清光
R4. 5. 26	令和 4 年度静岡県一産総研の連携に係る連絡会議	第 1 回	(Web)	国立研究開発法人産業技術研究所イノベーション推進本部地域連携部関東地域局	宮原 鐘一
R4. 7. 14		第 2 回			
R4. 9. 26		第 3 回			
R4. 5. 27	フotonバレーセンターA-SAP産学官金連携イノベーション推進事業採択審査会		(公財) 浜松地域イノベーション推進機構フotonバレーセンター	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
R4. 9. 13					
R5. 2. 1					
R5. 2. 6					
R4. 6. 5	J I S 溶接技能者評価試験立会員		浜松技術専門校	(一財) 日本溶接協会 中部地区溶接技術検定委員会	木野 浩成
R4. 9. 4					
R4. 12. 14					
R5. 3. 5					
R4. 6. 10	レーザー中核人材企画会議		(Web)	光産業創成大学院大学	鷺坂 芳弘
R4. 12. 16					
R5. 2. 17					
R4. 6. 15	第 1 分科会		(Web)	中部エレクトロニクス振興会	山田 浩文
R4. 8. 19			浜松工業技術支援センター		
R4. 9. 20					
R4. 11. 25					
R5. 2. 14			(Web)		
R4. 6. 16	令和 4 年度光・電子活用チャレンジ事業費補助金審査会		静岡大学イノベーション社会連携推進機構	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	宮原 鐘一
R4. 7. 1	はままつ知財研究会 2022 年度総会		(書面)	はままつ知財研究会	松田 稔
R4. 7. 7	令和 4 年度医工連携スタートアップ支援事業審査会		アクトシティ浜松	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	宮原 鐘一
R5. 2. 22			ホテルクラウンパレス浜松		

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 7. 11	次世代自動車センター令和4年度試作品等製作委託事業第1回審査会	(公財)浜松地域イノベーション推進機構次世代自動車センター浜松	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
R4. 7. 22	2022年度先端精密技術研究会総会及び幹事会	ホテルクラウンパレス浜松	先端精密技術研究会	長谷川 和宏
R4. 7. 25	令和4年度モータードライブ応用研究会総会及び役員会	ホテルクラウンパレス浜松	モータードライブ応用研究会	木野 浩成
R4. 7. 25	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	静岡県庁	経済産業部商工業局	松田 稔
R5. 1. 27				
R4. 8. 30	浜松地域産業支援ネットワーク会議委員会	(書面)	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
R4. 9. 8	次世代自動車センター令和4年度試作品等製作委託事業第2回審査会	(公財)浜松地域イノベーション推進機構次世代自動車センター浜松	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
R4. 9. 22	令和4年度静岡県科学技術振興表彰選考委員会	静岡県庁	経済産業部商工業局長	松田 稔
R4. 9. 28	KECシェアードミーティング	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田 浩文
R4. 3. 15				
R4. 12. 22	基礎級技能検定実技試験検定委員	山田(株)	静岡県職業能力開発協会	田光 伸也
R4. 12. 22	浜松ものづくりマイスター選考委員会(現地調査及び最終選考)	株式会社日本設計工業、浜松工業技術支援センター	浜松市産業部	松田 稔
R5. 3. 1	令和4年度モータードライブ応用研究会役員会及び例会	ホテルクラウンパレス浜松	モータードライブ応用研究会	木野 浩成
R5. 3. 27	はままつ知財研究会幹事会	浜松商工会議所会館	はままつ知財研究会 事務局	松田 稔
派遣回数 83回			派遣人数(延べ)	102人

(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	30	108
沼津工業技術支援センター	8	11
富士工業技術支援センター	8	12
浜松工業技術支援センター	14	15
合計	60	146

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会場	主催	派遣者氏名
R4.4.6	産総研IC 説明会	(Web)	産総研	田中 伸佳
R4.4.23	つながる工場テストベッド 事業報告会	(Web)	産総研	赤堀 篤 望月 紀寿 望月 健治 大澤 洋文 岩崎 清斗 松下 五樹
R4.5.28				
R4.6.26				
R4.7.24				
R4.8.23				
R4.9.27				
R4.10.25				
R4.11.22				
R5.1.24				
R5.2.28				
R5.3.28				
R4.5.26	静岡県-産総研との連携に 係る連絡会議	(Web)	産総研	田中 伸佳
R4.7.14				
R4.6.6	産技連 企画調整分科会	(Web)	産業技術連携推進 会議	田中 伸佳

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 6. 28	中部イノベネット運営委員会	(Web)	中部イノベネット	杉山 直人
R4. 7. 6	産技連東海北陸地域地域産技連及び東海・北陸地域部会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地域産技連	杉山 直人
R4. 10. 19 ～20	情報技術分科会音・振動研究会	(Web)	産技連	竹居 翼
R4. 10. 24 ～28	第16回木質科学分科会	(Web)	産技連ナノテクノロジー・材料部会	田村 克浩 村松 重緒 菊池 圭祐
R4. 10. 27	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 第60回高分子分科会	(Web)	鳥取県産業技術センター	菅野 尚子 望月 智文 野澤 遼
R4. 10. 27	ライフサイエンス部会デザイン分科会	(Web)	産技連、山梨県産業技術センター	長澤 正 及川 貴康 多々良 哲也
R4. 11. 7	東海・北陸地域部会 情報・電子デバイス分科会	(Web)	三重県工業技術研究所	赤堀 篤
R4. 11. 10 ～11	第29回塗装工学分科会	徳島県立工業技術センター	令和4年度産技連製造プロセス部会	田村 克浩 村松 重緒
R4. 11. 22	産技連 企画調整分科会	(Web)	産技連	田中 伸佳
R4. 11. 24	産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会 機械・金属分科会	(Web)	石川県工業試験場	大竹 正寿 岩澤 秀
R4. 11. 29	令和4年度合同総会（関東地域産技連、関東地域部会）	東京都立産業医技術研究センター	産技連関東甲信越静地域産技連 産技連関東甲信越静地域部会	杉山 直人
R4. 12. 8	計測分科会形状計測研究会	(Web)	産技連	柳原 亘
R5. 2. 9	全国食品関係試験研究場所長会総会	つくば国際会議場	全国食品関係試験研究場所長会	杉山 直人
R5. 2. 14	産業技術連携推進会議総会	(Web)	産技連	杉山 直人
R5. 2. 17	産技連 企画調整分科会	(Web)	産技連	田中 伸佳
派遣回数 30 回			派遣人数（延べ）	108 人

注) 産技連：産業技術連携推進会議
農研機構：(国研)農業・食品産業技術総合研究機構
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 5. 26	静岡県-産総研連絡会議	(Web)	産総研	鬼久保 郁雄
R4. 7. 14				
R4. 9. 26				
R5. 3. 27				
R4. 6. 28	産総研・産技連L S - B T 合同研究発表会産総研ライ フサイエンス分科会発表会	(Web)	産総研	鬼久保 郁雄 杉本 芳邦 勝山 聡 高木 啓詞
R4. 7. 6	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	大川 勝正
R4. 9. 30	中部公設試験研究機関長会	愛知県産業労働セン ター	中部科学技術セン ター	鬼久保 郁雄
R4. 11. 29	令和4年度合同総会（関東 地域産技連、関東地域部 会）	東京都立産業医技術 研究センター	産技連関東甲信越 静地域産技連 産技連関東甲信越 静地域部会	大川 勝正
派遣回数 8 回			派遣人数 (延べ)	11 人

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 5. 26	静岡県-産総研連絡会議	(Web)	産総研	飯野 修
R4. 7. 14				
R4. 7. 6	産技連東海北陸地域地域産技連及び東海・北陸地域部会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	櫻川 智史
R4. 9. 30	中部公設試験研究機関機関長会	愛知県産業労働センター	中部科学技術センター	櫻川 智史
年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 10. 13	令和4年度 産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 表面技術分科会	(Web)	産技連	高木 誠
R4. 11. 29	令和4年度合同総会（関東地域産技連、関東地域部会）	東京都立産業医技術研究センター	産技連関東甲信越静地域産技連 産技連関東甲信越静地域部会	櫻川 智史
R5. 1. 23	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	(Web)	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	櫻川 智史 飯野 修 深沢 博之 伊藤 彰 河部 千香
R5. 2. 14	産業技術連携推進会議総会	(Web)	産技連	櫻川 智史
派遣回数 8 回			派遣人数 (延べ) 12 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 5. 19	繊維分科会 東海地域連絡 会総会	(電子メール)	産技連ナノテクノ ロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木 重好
R4. 5. 26	静岡県-産総研連絡会議	(Web)	産総研	宮原 鐘一
R4. 7. 14				
R4. 6. 7	CHC全体会議	(Web)	東海・北陸地域部 会 機械・金属分科 会 炭素繊維高度利 活用技術研究会	鈴木 重好
R4. 6. 30	繊維分科会 総会	(電子メール)	産技連ナノテクノ ロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木 重好
R4. 7. 6	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	松田 稔
R4. 9. 30	令和4年中部公設試験 研究機関 機関長会・研究者 表彰式	愛知県産業労働セン ター	(公財)中部科学技 術センター	松田 稔
R4. 10. 21	繊維分科会 繊維技術研究 会	(Web)	ナノテクノロジ ー・材料部会 繊維 分科会	鈴木 重好
R4. 11. 17	繊維分科会 東海地域連絡 会	(電子メール)	ナノテクノロジ ー・材料部会 繊維 分科会	鈴木 重好 森田 達弥
R4. 11. 17	産業技術連携推進会議 製 造プロセス部会 積層造形 研究会	長崎県 ミライon 図 書館	産業技術連携推進 会議 積層造形研究 会	木野 浩成
R4. 11. 29	令和4年度合同総会(関東 地域産技連、関東地域部 会)	東京都立産業医技術 研究センター	産技連関東甲信越 静地域産技連 産技連 関東甲信越 静地域部会	松田 稔
R5. 1. 20	第20回関東甲信越静EMC研 究交流会及び広域輸出製品 技術支援センター (MTEP) EMCパートナーグループ会	埼玉県産業技術総合 センター	関東甲信越静EMC研 究交流会 東京都	山田 浩文
R4. 1. 25	繊維分科会 幹事会	(電子メール)	ナノテクノロジ ー・材料部会 繊維 分科会	鈴木 重好
R5. 2. 14	第63回産業技術連携推進 会議総会	(Web)	産技連	松田 稔
派遣回数 14回			派遣人数(延べ)	15人

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	学会等発表回数 (ポスター発表 含む)	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展
工業技術研究所	11	3	5	10
沼津工業技術支援センター	3	3	0	6
富士工業技術支援センター	0	1	1	6
浜松工業技術支援センター	17	1	0	3
合計	31	8	6	25

(a) 工業技術研究所の実績 (※はポスター発表)

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R4. 6. 12	水産未利用資源抽出物 投与がマウス免疫系に 与える影響	第76回日本栄養・食糧学 会大会	予稿集	長房 秀幸
R4. 6. 29	海洋由来乳酸菌を用い た発酵甘酒の開発※	第20回産総研・産技連 LS-BT合同研究発表 会	—	袴田 雅俊
R4. 6. 29	海洋由来微生物による 発酵甘酒の香気特性※			松野 正幸
R4. 7. 22	セルロースナノファイ バーを用いた自動車用 湿式摩擦材の開発※	セルロース学会第29回 年次大会	セルロース学会第29 回年次大会講演要旨 集	菅野 尚子
	セルロースナノファイ バーの繊維長による香 りの放散挙動			石橋 佳奈
R4. 9. 22	分光反射率測定デー タを対象とした機械学 習によるデータ補間手 法の検討	一般社団法人照明学会2 022年度全国大会	—	田代 知範
R4. 11. 2	海洋由来乳酸菌を用い た発酵ハバネロソース の開発※	農研機構食品研究成果展 示会2022	第40回講演会	堀池 隼雄
R4. 11. 9	水産未利用資源抽出物 投与がマウス免疫系に 与える影響※	日本食品免疫学会第18 回学術大会	—	長房 秀幸

R5. 3. 7	ホワイトアッシュの樹幹内位置と衝撃曲げ強さの関係	第73回日本木材学会大会	—	菊池 圭祐 田村 克浩
年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R5. 3. 15	テラヘルツ時間領域分光法によるCNF複合材料の非破壊評価*	第73回日本木材学会大会	(一社) 日本木材学会	菅野 尚子
R5. 3. 15	非接触形状測定機による傾斜面測定の見誤差評価—傾斜角度と表面粗さについて—	一般社団法人精密工学会	—	柳原 亘
R5. 3. 15	透析脱塩による豆乳エマルジョンの可逆的挙動	日本農芸化学会	要旨集	松野 正幸
学会誌及び専門誌への投稿				
R4. 10. 22	Viscosity of evaporated soymilk prepared in the laboratory using normal and IIS-lacking soybean seeds-	Wily Online Libraly	Journal of the Science of Fpod and Agriculture, 2022	松野 正幸
R4. 10. 25	Cellular Anti-Inflammatory and Antioxidant Activities of Bamboo Sasa albomarginata Leaf Extract and Its Constituent Coumaric Acid Methyl Ester	Volume 2022, Article I D 8454865, 10 pages	The Scientific World Journal	袴田 雅俊 浅沼 俊倫
R5. 3. 31	未利用バイオマスを原料とした活性炭開発と電極材料への展開	—	日本炭化学会誌	菊池 圭祐
一般誌への投稿				
R4. 7. 22	高密着な樹脂めっきの作製-ポリカーボネイト, PP/CNF 複合材へのめっき技術の検討-	—	月刊 J E T I	田中 宏樹
R4. 10. 15	自転公転式ミキサーによる錠剤粉碎および湿式造粒	Vol. 097 No. 1137 pp. 22-27	冷凍	松野 正幸
R4. 11	半熔融成形法を用いたアルミニウム casting 合金の高性能化	アルミニウム研究会誌	(一社) 表面技術協会	岩澤 秀
R4. 12. 10	注目の地域ブランド (東海地方編)	—	月刊フードケミカル	袴田 雅俊
R5. 2. 7	海洋由来乳酸菌を用いた発酵ハバネロソースの開発	No. 57	食品の試験と研究	堀池 隼雄 袴田 雅俊 浅沼 俊倫
展示会への出展				

R4. 6. 1 ～3	業務紹介	シズオカ [KAGU] メッセ2022	—	工芸科
R4. 10. 3	CNFを用いた香り成分の 放散挙動について	ふじのくにCNF総合展示 会	—	石橋 佳奈
R4. 10. 21	静岡県のIoT導入支援に ついて*	第16回TKFオープンフォ ーラム	—	赤堀 篤
年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R4. 11. 8	CNFを用いた香り成分の 放散挙動について	ふじのくにCNF総合展示 会	—	堀池 隼雄 山下 里恵 工芸科
R4. 11. 11 ～12	ポリ乳酸へのめっき技 術の開発	産業振興フェアinいわ た	—	田中 宏樹
	PP/CNF複合材への高密 着めっきの作製			大竹 正寿
	静岡県のIoT導入支援に ついて*			赤堀 篤
	新成長戦略研究成果品 (乳酸発酵甘酒ほか)			堀池 隼雄
	駿河湾由来から分離さ れたカロテノイド生産 微生物の紹介*			室伏 敬太
	小型メタン発酵プラ ントを用いた高温メタン 発酵への対応*			井口 大輔
R4. 11. 16	医療器具開発について	医療福祉機器展	—	工芸科
合計件数 29 件		学会等発表 11 件・投稿等 8 件・展示会 10 件		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R4. 6. 28	海洋由来微生物を活用したサワービールの開発	産総研・産技連LS-BT合同研究発表会産総研ライフサイエンス分科会発表会 (Web)	—	勝山 聡 横澤 賢 鈴木 雅博
R4. 11. 17	熱間加工後の動的再結晶化率を予測する新たな構成式の提案	型技術ワークショップ2022 in ぎふ	型技術 Vol. 37 No. 13 (2022)	是永 宗祐 本多 正計
R5. 3. 15	コーヒーかす抽出液を利用した酵母によるバイオスティミュラントの生産	日本農芸化学会2023年度大会 (オンライン開催)	—	高木 啓詞
学会誌及び専門誌への投稿				
R4. 5. 15	県内分離乳酸菌を活用したサワービールの開発	—	日本食品科学工学会誌	勝山 聡 鈴木 雅博 横澤 賢 高木 啓詞
R4. 6	Novel constitutive equation for predicting dynamic recrystallization during hot working considering the efficiency of power dissipation	—	Metallurgical and Materials Transactions A	是永 宗祐 本多 正計
R4. 7. 25	海洋由来乳酸菌を用いた豆乳ヨーグルトの開発!	—	生物工学会誌	バイオ科
一般誌への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
R4. 11. 11 ~12	<ul style="list-style-type: none"> 海洋由来微生物を活用したサワービールの開発Ⅱ (最適酵母の選抜及びベンチスケール試作) 医療機器開発を支援するための鍛造シミュレーションシステムの構築 	第12回産業振興フェアinいわた	—	バイオ科 機械電子科
R4. 11. 28		第16回静岡県東部テクノフォーラムin沼津高専		本多 正計 飯塚 千佳世
R4. 12. 2		Made in Mt. Fuji ふじのくに医療・介護福祉機器展-富士山麓産学官金連携フォーラム2022-		本多 正計 飯塚 千佳世
合計件数 12 件		学会等発表 3 件・投稿等 3 件・展示会 6 件		

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
実績なし				
学会誌及び専門誌への投稿				
R4. 5. 1	段ボール古紙を使用した「茶色いトイレットペーパー」の開発	—	紙パルプ技術タイムス	齊藤 和明 深沢 博之 杉本 芳邦
一般誌への投稿				
R4. 10	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センターの紹介	日本試験機工業会	TEST	三宅 健司
展示会への出展				
R4. 10. 3 ～11. 15	・次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 ・新型リファイナーを用いたCNF製造の試み	ふじのくにCNF総合展示会オンラインイベント	—	CNF科
R4. 11. 8	・次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 ・新型リファイナーを用いたCNF製造の試み ・セルロースナノファイバー(CNF)関連機器の紹介	ふじのくにCNF総合展示会	—	山下 晶平 田中 翔悟 中島 大介 山崎 利樹
R4. 11. 11 ～12	・次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 ・新型リファイナーを用いたCNF製造の試み ・異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発	第12回産業振興フェアinいわた	—	高木 誠 山下 晶平 田中 翔悟 中島 大介 山崎 利樹
R4. 12. 2	セルロースナノファイバー(CNF)関連機器の紹介	Made in Mt.Fujiふじのくに医療・介護福祉機器展	—	三宅 健司
R4. 12. 7 ～9	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	エコプロ2022	—	櫻川 智史 中島 大介 山崎 利樹
R5. 2. 10 ～11	・プラスチック資源循環実現に向けたCNF複合樹脂のリサイクル性の評価 ・TEMPO酸化CNFに関する産業支援の取組について ・廃棄衣料コットンを原料とした紙の開発 ・プラズマ照射による樹脂表界面の新規改質技術の開発—新型プラズマ照射装置の樹脂表面改質への応用—	ものづくり力交流フェア2023	—	櫻川 智史 三宅 健司 飯野 修 高木 誠 中島 大介 山崎 利樹
合計件数 8 件		学会等発表 0 件・投稿等 2 件・展示会 6 件		

(d) 浜松工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R4. 6. 5	サブナノ秒レーザーピーンフォーミングによる張出し成形 (第一報 変形モードの影響)	2021年度塑性加工春季講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘
R4. 7. 22	セルロースナノファイバーを用いた自動車用湿式摩擦材の開発※	セルロース学会第29回年次大会	—	木野 浩成
R4. 9. 7	カラーイメージングによる表面粗さ推定に関する研究 (第3報)	2022年度 精密工学会秋季大会講演会	講演論文集	中野 雅晴
R4. 9. 9	サブナノ秒レーザーピーンフォーミングによる薄板のバルジ成形 (第一報)	2022年度 精密工学会秋季大会講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘
R4. 9. 22	図形を描画するマイクロプリズムアレイのと投影性能の検討	2022年度 照明学会全国大会	講演論文集	志智 亘
R4. 10. 13 ~14	熱可塑性炭素繊維強化プラスチック (CFRTP) に関する静岡県の取り組み※	第66回FRP総合講演会・展示会	—	針幸 達也
R4. 10. 13 ~14	細断したUDテープを用いたCFRTPの圧縮成形技術の開発	第66回FRP総合講演会・展示会	—	森田 達弥
R4. 11. 15	マイクロプリズムアレイによる図形投影の回折による影響	2022年度 日本光学会年次学術講演会	講演論文集	志智 亘
R4. 11. 18	サブナノ秒レーザーピーンフォーミングによる張出し成形 (第二報 螺旋走査経路の影響)	第73回 塑性加工連合講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘
R4. 11. 18	ナノ秒レーザーピーンフォーミングにおける水循環適用の効果	第73回 塑性加工連合講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘 山下 清光
R4. 11. 18	細断したUDテープを用いた熱可塑性CFRPのトランスファ成形技術の開発	第73回塑性加工学会	—	森田 達弥
R4. 11. 30	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料 (CFRP) の高効率成形技術の確立※	コンポジットハイウェイコンベンション2022	—	鈴木 重好
R4. 12. 10	細断したUDテープを用いたCFRTPのトランスファ成形	繊維学会東海支部若手繊維研究会	—	森田 達弥
R5. 3. 8	レーザーピーニングの簡易評価法の基礎検討 (ナノ秒レーザーピーンフォーミングの変形特性)	日本機械学会東海支部第72期総会・講演会 TO UKAI ENGINEERING COMPLEX 2023	講演論文集	鷺坂 芳弘 山下 清光

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
R5. 3. 14	サブナノ秒レーザーピーンフォーミングによる薄板のバルジ成形(第2報)ー走査経路による成形効率の向上ー	2023年度精密工学会春季大会講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘
R5. 3. 15	非接触形状測定機による傾斜面測定の誤差評価ー傾斜角度と表面粗さについてー	2023年度精密工学会春季大会講演会	講演論文集	中野 雅晴
R5. 3. 16	ナノ秒レーザーピーンフォーミングにおけるデブリの影響	2023年度精密工学会春季大会講演会	講演論文集	鷺坂 芳弘 山下 清光
学会誌及び専門誌への投稿				
R4. 8	レーザー加工	日本塑性加工学会会報誌	ぶらすとす	鷺坂 芳弘
一般誌への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
R4. 7. 21	熱可塑性チョップドUDテープカット材の成形ー静岡県の取り組みー*	NCC次世代複合材研究会プレゼン会	ー	鈴木 重好
R4. 11. 11 ~12	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立*	産業振興フェアinいわた	ー	繊維高分子材料科
R4. 11. 11 ~12	車載機器EMCテストサイト*	産業振興フェアinいわた	ー	機械電子科
合計件数 21 件		学会等発表 17 件・投稿等 1 件・展示会 3 件		

(2) 令和4年度研究成果一覧

ア 工業技術研究所

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	継続	共同	R2 ～ R4	マリンバイオ関連産業の振興を図るため、海洋微生物を活用した食品開発として、海洋由来の乳酸菌を活用して、清涼感等を増強した甘酒や発酵調味料等の開発を目指した。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	水産・海洋技術研究所、沼津工業技術支援センター、農林技術研究所畜産技術研究所、環境衛生科学研究所、(一財)マリンオープンイノベーション機構 企業1社
新成長戦略研究	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	継続	共同	R3 ～ R5	路面に図形を描画することで歩行者等にメッセージを伝える“コミュニケーションライティングシステム”の実現に必要な、超小型で超微細な樹脂レンズの製品化技術を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	
新成長戦略研究	設備、モノ、ヒトの統合的データ分析による生産性の効率化	新規	共同	R4 ～ R6	生産機器の稼働状況の見える化へのIoT技術の導入の次のステップとして、ヒトやモノの動きを追加して生産計画への適用を図り、工場全体の効率化を図る。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	
新成長戦略研究 (チャレンジ枠)	静岡発ドライマンナンを用いた培養肉の開発	新規	単独	R4	代替肉の需要が今後増加する見込みであるため、県産新規食材「ドライマンナン」を基材とした培養肉を開発する。	畜産動物からの細胞の採取、及び基材とするドライマンナンの調製に成功し、基材上での細胞培養評価系の構築を進め、ドライマンナンと鶏細胞の複合体を作成した。	実用化に向け詳細な検討を進める。	

<p>県単独研究 (競争的資金による研究)</p> <p>科研費 (若手研究)</p>	<p>セルロースナノファイバーによる香り成分の徐放機構の解明及び分散制御技術の開発</p>	<p>継続</p>	<p>単独</p>	<p>R2 ～ R4</p>	<p>セルロースナノファイバーの化粧品への添加によって付与される「香りの徐放性」の発現メカニズムを解明し、その制御技術を確立する。</p>	<p>CNFの繊維長を変更することで、香りの放散挙動が変化することが明らかとなった。また、CNFの繊維長による香り放散挙動変化は、ミセルの水/油界面に吸着するCNFの吸着形態に因ることが示唆された。</p>	<p>県内企業と共同で、県産の香りを活用した製品(雑貨や化粧品・食品等)や徐放性の技術を提案し、県内外に発信することで、研究成果の普及を図る。</p>	
<p>県単独研究</p>	<p>バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発</p>	<p>継続</p>	<p>単独</p>	<p>R3 ～ R4</p>	<p>CO2排出量削減等に対応するため、ポリ乳酸等のバイオマスプラスチックが採用されている。自動車部品等で利用するためには耐食性等の付与が必要となるため、ポリ乳酸等へのめっき技術を開発する。</p>	<p>高密度なめっき作製条件を確立するために、めっき前処理等のめっき条件を検討した結果、ポリ乳酸について5.4N/cm、セルロース複合化ポリ乳酸について6.0N/cmの密着強度が得られた。</p>	<p>独自技術として開発後、静岡県鍍金工業組合(65社)より県内企業に技術提供を目指す。</p>	
<p>県単独研究 (競争的資金による研究)</p> <p>科研費 (基礎研究)</p>	<p>豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発</p>	<p>継続</p>	<p>単独</p>	<p>R3 ～ R5</p>	<p>植物性タンパク質源として注目されている豆乳は、加熱濃縮により凝集・固化しやすい問題点がある。このメカニズムを「液-液相分離」の視点で解析することで、豆乳タンパク質が凝集しにくい濃縮技術を開発する。</p>	<p>各種濃度のNaCl添加生豆乳を調整し、透析脱塩して凍結融解した結果、全てのサンプルの分画性が回復し、豆乳エマルションの可逆性が示唆された。</p>	<p>得られた知見を論文投稿する他、県内事業者と共有して新たな食品開発に取り組む予定。</p>	<p>静岡県立大学</p>
<p>県単独研究</p>	<p>微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発</p>	<p>継続</p>	<p>単独</p>	<p>R3 ～ R4</p>	<p>本研究では、排水処理の低コスト化・装置のコンパクト化を実現するために、県内企業に設置したパイロットプラントでの処理実験を通じ、微細気泡散気方式で間欠曝気を行う新たな処理装置を開発する。</p>	<p>今年度は、高負荷条件で新たな処理装置を評価し、所定の水質の処理水を得るのに必要な曝気量が従来方式を下回ることを確認した。活性汚泥の遺伝子解析については脱窒酵素群で4種類の指標微生物を選抜した。</p>	<p>県内排水処理設備メーカーを通じて新たな処理装置の普及を目指す。</p>	

県単独研究	居住空間における木材・木製品等の変色に関する研究	継続	単独	R3 ～ R5	木材・木製品や建材などの変色に関するトラブルは多く、原因究明への相談が多い。除菌剤などを含め、屋内で考えられる汚染要因と変色の発生について考察し、トラブルの対策法、防止策について明らかにする。	木製品変色に対する消毒液・洗浄剤の影響、アルカリ変色の目安(pH12以上)を確認した。蛍光X線分析により、非破壊・簡便に無機元素由来変色要因情報が取得できることを確認した。	事例紹介や技術相談にて知見の還元を行う。次年度は相談事例やリカバリー情報を盛り込んだデータベースを構築する	
一般共同研究	県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	継続	単独	R3 ～ R4	本研究では、木材の事前乾燥や減圧加工注入が不要な木材保存剤を用いた防腐・防蟻処理技術を開発する。これにより、地域での木材の薬剤処理が可能となり県産材の地産地消が図られる。	ホウ酸系薬剤にポリエチレングリコールを添加すること木材への浸透性が向上した。またシリコーンゴムエマルジョンを表面に塗布することでホウ酸系薬剤の溶脱を抑制できた。地域で処理可能な防腐防蟻技術へつながる。	協力機関と成果を共有し、実際の木材を用いて野外試験を実施し、実用化を進める。	企業1社
県単独研究	摩擦攪拌接合を適用した半溶融成形鋳物継手の技術開発	新規	単独	R4 ～ R5	アルミニウム合金鋳物の接合技術により、構造部材の複雑形状化・高機能化が期待される。本研究では、摩擦攪拌接合と半溶融成形法を組合せた信頼性の高い高性能な接合継手を開発する。	接合及び熱処理条件の最適化により、引張強さ290MPa、伸び5%以上の引張特性を有する継手を作製することが出来た。高強度・高延性継手の製造方法として、自動車関連企業へ技術情報を発信していく。	学会発表による技術情報の発信や自動車部品メーカーとの技術提携を図る。	
県単独研究 (競争的資金による研究) 科研費 (若手研究)	機械学習によるBRDFの高分解能化手法の開発	新規	単独	R4 ～ R6	高分解能な反射特性の測定には、時間がかかると共に膨大なデータ容量を作り出すという課題がある。そこで、機械学習を用いて高分解能な双方向性反射率分布関数(BRDF)を推定する方法を確立する。	基礎的な反射特性データの収集を続け、機械学習で使用する反射特性学習データベースの充実を図った。	高精度な光学シミュレーションを実現することで、照明や車載光学機器などの光環境開発支援に貢献する。	

県単独研究	抗炎症効果のある伊豆特産サクラ葉抽出物の素材化と作用機序解析	新規	単独	R4 ～ R5	伊豆特産のオオンマザクラの葉に抗炎症活性を見出したことから、サクラ葉抽出物の素材化条件を検討し素材を商品化するとともに抗炎症作用機序の解明に取り組む。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介護機器の開発	継続	共同	R3 ～ R4	被介護者の自尊自立支援、介護者の負担軽減、安全性と作業効率化の両立を最大限に考慮しながら「介護サービスの質の向上を目指したトイレ介護機器」を新たに開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社 常葉大学
一般共同研究	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	継続	共同	R2 ～ R4	現在取り組んでいる県内中小企業へのIoT技術の導入支援をさらに強化するため、産総研との共同研究を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	産業技術総合研究所
一般共同研究	アルミニウム鋳造品用異種素材の固相接合技術の研究開発	継続	共同	R3 ～ R4	アルミ合金鋳造材とダイカスト材に摩擦溶接（FSW）を適用した接合技術の確立及び実用化を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	資源循環型システムを志向した樹脂複合材のテラヘルツ波による非破壊検査手法の開発	新規	共同	R4 ～ R5	テラヘルツ（THz）波を活用し、樹脂複合材の材料特性を非破壊で検査する手法を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	カーボンニュートラルに貢献するリサイクル樹脂複合材の開発	新規	共同	R4 ～ R5	マテリアルリサイクルされた樹脂とセルロース繊維を配合することで物性を向上させ、得られた複合材の普及拡大を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	自動車用途向けCNFオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	新規	共同	R4 ～ R6	従来のCNF複合樹脂では耐衝撃性が樹脂単体と比べ低下してしまう。このため、自動車用に多く使用されているオレフィン樹脂を対象に、無機系添加剤とCNFの相乗効果により耐衝撃性等の物性の向上を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社

<p>受託研究 (競争的資金による研究)</p> <p>先端企業育成プロジェクト推進事業(県新産課)</p>	<p>複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発</p>	<p>継続</p>	<p>受託</p>	<p>R2 ~ R4</p>	<p>次世代自動車に要求される軽量部材を実現するために、温度と圧力の同時制御による異種材料を一体化により接合したマルチ部材の量産対応の工業プロセスを開発し、リサイクル技術まで確立する。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>企業1社</p>
<p>受託研究 (競争的資金による研究)</p> <p>国際標準化事業(経産省)</p>	<p>フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化</p>	<p>継続</p>	<p>受託</p>	<p>R2 ~ R4</p>	<p>フレキシブル面状光源の最大の特徴である形状の可変性に応じた性能評価のための測光方法を研究し、国際電気標準会議(IEC)に規格原案を提案する。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>山形大学</p>
<p>受託研究 (競争的資金による研究)</p> <p>課題提案型研究助成(スズキ財団)</p>	<p>バイオマス素材を原料とした白金担持炭素材料の開発</p>	<p>新規</p>	<p>受託</p>	<p>R4 ~ R5</p>	<p>水素社会実現のため燃料電池の普及が求められている。普及の課題は白金使用量の低減である。本研究では、静岡大学が開発した高効率白金触媒をバイオマスナノファイバーに担持し高性能な燃料電池触媒を開発する。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>静岡大学</p>
<p>受託研究 (競争的資金による研究)</p> <p>新成長産業戦略的育成事業(県産業振興財団)</p>	<p>エアコンの省エネ性能を躍進する軽量高剛性スクロールの量産化システムの開発</p>	<p>新規</p>	<p>受託</p>	<p>R4 ~ R5</p>	<p>高圧鋳造技術により作製した粒状ホウ酸アルミを含有するアルミ基複合材料をベースとした軽量高剛性のスクロールを世界規模で生産するための量産化システムを開発する。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>企業1社</p>
<p>受託研究 (競争的資金による研究)</p> <p>MaOI-FS(MaOI機構)</p>	<p>エラ抽出物の腸内細菌叢改善作用の研究</p>	<p>新規</p>	<p>受託</p>	<p>R4</p>	<p>静岡県は水産加工の盛んな県だが、加工残査の処理が課題となっている。加工残査から抽出物を作製し生体での腸内細菌叢に対する生理活性を明らかにすることで、新たな機能性食品としての活用を目指す。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>企業1社</p>
<p>受託研究 (競争的資金以外の研究)</p>	<p>ポリプロピレン(PP)/CNF複合材への高密着なめつき技術の開発</p>	<p>新規</p>	<p>受託</p>	<p>R4</p>	<p>セルロースで複合化したPPの成形品について、高密着なめつき皮膜を作製することを目的とする。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>受託研究につき公表を控えます。</p>	<p>企業1社</p>

受託研究 (競争的資金以外の研究)	蒸留所から発生する高濃度廃液を利用した高効率メタン発酵手法の開発	新規	受託	R4	ウイスキー蒸留所から排出される蒸留廃液は糖分が多く廃水処理に負荷が掛かっている。本研究ではウイスキー蒸留所から排出される高濃度廃液を原料とし、高温制御で高効率にメタン発酵するための条件を検討する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	民間団体
受託研究 (競争的資金以外の研究)	長期の連続式メタン発酵試験によるサプリメント製造残渣の適性評価	新規	受託	R4	サプリメント製造残渣を発酵原料とする連続式メタン発酵試験を半年以上行い、サプリメント製造残渣のメタン発酵適性を評価する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 (競争的資金以外の研究)	バイオリファイナリーを活用した食品廃棄物再資源化のための可溶化技術の開発	新規	受託	R4	バイオリファイナリー（バイオマスをエネルギーや化成品に転換する技術）を活用し食品廃棄物を再資源化するために、オンソ処理及び熱アルカリ処理を利用したバイオマスの可溶化技術を開発することを目的とする。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 (競争的資金以外の研究)	実験室規模水素発酵装置による水素生産最適条件の検討	新規	受託	R4	委託企業の発酵槽容積1トン規模の水素発酵リアクターの実証試験のため、実験室規模の水素発酵装置を用いた水素生産最適条件の検討を行い、リアクターの実証試験に必要な知見を得る。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 (競争的資金以外の研究)	サウナ用ウッドジョイントデッキの耐熱・耐荷重試験	新規	受託	R4	木材とプラスチックを組み合わせたサウナ用ウッドジョイントデッキの、サウナ環境（床温度80℃）下での耐熱性・耐荷重性を確認し、商品化を見据えた問題点の確認、県産材の新たな用途先の開拓を目指す。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 (競争的資金以外の研究)	木質活性炭への白金担持と燃料電池性能評価	新規	受託	R4	竹害が課題となっている放置竹林の竹を有効活用するため活性炭化を行っている。作製した活性炭の高付加価値のある応用先として燃料電池触媒を検討する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

沼津工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	継続	共同	R2 ～ R4	マリンバイオ産業振興ビジョンに基づき、本県海洋資源を活用した食品分野における新産業創出を目的に、当科では他産地と差別化可能な海洋微生物を活用したサワービール及び生搾系清酒の開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	水産・海洋技術研究所、農林技術研究所畜産技術研究所、環境衛生科学研究所、(一財)マリンオープンイノベーション機構 企業1社
一般共同研究	本県独自の清酒用麹の開発フローの構築	継続	共同	R3 ～ R5	県内の清酒業界からは、課題性や魅力のある商品の開発に向けて、県独自の清酒用麹の開発要望が強く寄せられていた。そこで本研究では、本県の清酒造りに適した独自の清酒醸造用麹の開発フローを構築する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	(独)酒類総合研究所 企業1社 民間団体
一般共同研究	二軸引張試験を活用した難成形材プレスシミュレーションの高精度化	継続	共同	R3 ～ R4	EVシフトに向けた開発のリードタイム短縮や開発コスト削減のため、2021年にJIS規格化された二軸引張試験を導入して、プレス成形シミュレーションの高精度化を図る。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研 (競争的資金以外の研究)	国産高麗人参エキスの微生物発酵による有効成分変換機構の解明	新規	受託	R4	これまでに、高麗人参エキス中の有効成分ジンセノサイドの糖鎖を加水分解する微生物を選抜した。本研究では、選抜した微生物によるジンセノサイド変換機構を解明する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 (競争的資金以外の研究)	医療用金属材料の材料評価及び高温成形加工を活用した新たな加工方法の検討	新規	受託	R4	製品品質を担保するため、原料材の評価を行い、所定の規格を満たしていることを確認する。また、製品の製造コストを削減するため、高温成形加工による新たな加工方法表現の可能性を検討する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究 (競争的資金以 外の研究)	温間プレス成形後の 材料評価	新規	受託	R4	温間プレス成形では、加工中の熱やひずみによっ て金属材料の状態が変化する可能性があるため、 成形後の試料の材料状態を評価する。	受託研究につき公表を控 えます。	受託研究につき公表を控 えます。	企業1社
受託研究 (競争的資金以 外の研究)	自然界分離酵母のビ ール醸造適性評価	新規	受託	R4	委託者は、静岡市内の花等の自然界試料から分離 した酵母を活用したビールの開発を進めている。 そこで本研究では、委託者提供の分離株等につい てアルコール及び有機酸生成能等のビール醸造適 性の評価を行う。	受託研究につき公表を控 えます。	受託研究につき公表を控 えます。	民間団体

富士工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略研究	プラスチック資源循環 実現のためのCNF複合樹 脂リサイクル技術の開 発	新規	共同	R4	自動車の電動化等に伴う車体の軽量化に対応し、脱炭素・資源循環社会実現に貢献するため、ガラス繊維強化樹脂や炭素繊維強化樹脂に代わり得るCNFを活用した複合樹脂のリサイクル性を評価する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	静岡大学農学部
県単独研究	加温処理による紙の 低密度化に関する研 究	新規	単独	R4 ～ R5	当センターの過去の研究からパルプを加温処理するだけで紙が低密度化する現象を発見した。紙が低密度化するメカニズムを解明し、製紙工場の工程に適用可能な技術開発を行い紙製品のコストダウンを図る。	紙が低密度化するメカニズムとして化学的変化か繊維形態の変化であると仮定して実験を行ったところ、加温処理により繊維形態が変化（パルプが加温処理による湾曲し微細繊維量が変化）することが分かった。	紙が低密度化するメカニズムを解明し、研究協力機関である東京農工大学と連名で学術誌への投稿を目指して実験を行っている。	
一般共同研究 (競争的資金に よる研究) 科研費 (基礎研究)	深層学習を用いた画 像解析による牛群中 での子牛の疾病検知 システムの開発	継続	共同	R3 ～ R5	子牛の疾病で代表的な下痢、呼吸器疾患を対象として、深層学習を用いた映像解析等により牛群中での子牛の異常検知方法の検証を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	畜産技術研究所 日本工業大学
一般共同研究	プラズマ照射によるク ロム酸フリーのめっき 技術の開発	新規	共同	R4 ～ R5	自動車軽量化のため金属から樹脂への代替が進んでおり、意匠や耐久性向上を目的に樹脂めっきの必要性が増している。そこで樹脂めっきで使用される有害なクロム酸エッチングをプラズマ照射の応用技術で代替する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社

一般共同研究	廃棄衣料をリサイクルするための製紙技術の開発	新規	共同	R4	ファッション業界ではサステナブルな取り組みが求められており、廃棄衣類を原料とした紙製造の相談が県内製紙会社で増えている。本研究では廃棄衣類から安定した品質でリサイクル紙を製造する技術開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	マイクロ波減圧乾燥によるCNF濃縮技術の開発	新規	共同	R4 ～ R5	CNFの分散液はセルロースに対して数十倍の水を含んでおり、輸送コストが高く非常に高価である。コストを抑えるためにマイクロ波減圧乾燥を用いた濃縮技術を検討し、CNFの凝集を抑えた高濃縮品を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	リファイナーを用いた低コストCNF製造技術の開発	新規	共同	R4 ～ R6	新型リファイナーによる最適運転条件の確認とさらなる専用刃物の改良を行い、より低コストのCNF製造機器の開発を目指す。また、製紙助剤への応用など用途開発を行い、リファイナーCNFの更なる普及をはかる。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	自動車用途向けCNFオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	新規	共同	R4 ～ R6	CNFとオレフィン系樹脂との複合材について、自動車部品への適用のため衝撃性等の物性向上を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社

浜松工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形加工技術の確立	継続	単独	R2 ～ R4	炭素繊維強化複合材料は短時間成形が課題となっており利用・普及が進んでいない。そこで、大量生産に対応した成形加工技術を確立し、軽量素材としての利活用の促進を図る。	CFRPのテープ状中間基材の効率的な作製方法を確立するとともに、それを用いた新しい成形技術を開発し、アルミニウムダイカストと同等以上の曲げ強度で、複雑形状の部品を短時間で作製することが可能となった。	協力機関である浜松地域CFRP事業化研究会を通して会員企業等に技術普及を進める。	
新成長戦略研究	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	継続	単独	R3 ～ R5	路面に図形を投影することで歩行者にメッセージを伝える「コミュニケーションライティングシステム」の実現に必要な、超小型で超微細な樹脂レンズの製品化技術を構築する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	
新成長戦略研究 (政策課題指定枠)	積層造形を活用した新たなモノづくり技術の開発に向けた調査研究	新規	単独	R4	自動車の電動化を迎えて、迅速な製品・部品開発が求められている。3Dプリンタは、複雑形状部品の設計・試作期間を大幅に短縮できると期待されているが活用が進んでいない。	3Dプリンタ情報の収集・提供、樹脂及び金属3Dプリンタサンプルの試作、金属3Dプリンタ活用体制の整備、企業の取り組み状況調査を行った。	金属3Dプリンタに関する情報提供を行うことで、金属3Dプリンタの企業利用を進め、県内企業のデジタルものづくりを支援する。	
県単独研究	車載機器EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	継続	単独	R2 ～ R4	平成30年度に車載機器用のEMC試験を行う試験施設を開所した。本施設で得られる試験データの信頼性を保証するため、他の試験サイトと同条件の試験を行い、サイト間の「測定値のずれ」を比較する。	KEC関西電子工業振興センターのアンテナ照射イミュニティ試験の計測プロジェクトに参画し、全国の著名なメーカーや民間の試験サイトと比較することにより、当サイトの取得データの傾向が把握できた。	利用者に対して当サイトで得られるデータの信頼性を担保するとともに、その試験データの傾向について情報提供を行う。	

<p>県単独研究 (競争的資金による研究)</p> <p>科研費 (基盤研究)</p>	<p>多波長イメージングによる高速表面粗さ測定法の開発</p>	<p>継続</p>	<p>単独</p>	<p>R3 ～ R4</p>	<p>大面積の表面粗さを短時間で評価できる官能検査は、定量的な品質管理に課題がある。本研究では、試料表面の色を高精度にイメージング測定することで、巨視的な表面粗さの違いを定量測定する方法を確立する。</p>	<p>粗さによって色分布が変化する測定原理を明らかにした。協力企業が開発する製品の技術的な裏付けとなり、製品の信頼性の向上に寄与した。また、最適化した測定系で $Sa = \pm 1 \mu m$ の測定精度を実現した。</p>	<p>研究で得られた知見を活用して、2次元色彩計を用いた粗さ測定機の開発を目指す研究協力企業の製品開発を支援した。また、研究成果を学会で1件発表した。</p>	
<p>県単独研究</p>	<p>EV向けコネクタ・スイッチ用めっきの特性向上に関する研究</p>	<p>新規</p>	<p>単独</p>	<p>R4 ～ R5</p>	<p>県内めっき企業では、EV向けコネクタ・スイッチで使用されるAg、Snめっきの新規開発や品質向上の際に、特性評価(耐摩耗性、電気抵抗等)を行うことが難しい。</p>	<p>電圧を印加した状態で2種類の試料を同時に往復摺動できる試験装置を製作し、電気抵抗値を相対的に評価できた。まためっき表面の状態の変化を電気抵抗値の変化として捉えることができた。</p>	<p>Ag、Snの2種類のめっきについて、協力機関の現行品より耐久性に優れためっきの開発を進める。</p>	
<p>県単独研究</p>	<p>レーザーピーニングのデータベースの構築</p>	<p>新規</p>	<p>単独</p>	<p>R4 ～ R5</p>	<p>近年、レーザーピーニングについての設備使用や技術人材が増えつつあるため、加工方法やパラメータについてのデータベースを構築し、今後のレーザーピーニングの研究、指導の助けとする。</p>	<p>ろ過水の供給方法が実験の再現性に影響することを見出し、装置を最適化して再現性を確保できた。簡易評価法について検証を行い、大まかな傾向を把握できた。</p>	<p>学会発表3件実施、令和5年6月に2件の学会発表を予定。</p>	
<p>一般共同研究 (競争的資金による研究)</p> <p>新成長産業戦略的育成事業(県産業振興担当)</p>	<p>高周波焼入ロボットの研究開発</p>	<p>継続</p>	<p>共同</p>	<p>R3 ～ R4</p>	<p>高周波焼入の熟練作業者が減少し、加工品質の確保と納期・コストの悪化が課題となっている。本研究では、多品種・少量生産のカム部品に対して、最適な焼入作業を自動で行う高周波焼入ロボットの開発を行う。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>企業1社</p>
<p>一般共同研究</p>	<p>めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発</p>	<p>継続</p>	<p>共同</p>	<p>R3 ～ R5</p>	<p>鉄-アルミニウムの接合は地元企業から高いニーズがあるが、自動車部品の接合に多用される通常のスポット溶接法では、金属間化合物が生成するため、十分な強度を得ることが難しい。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>企業1社</p>

一般共同研究 産学官連携研究 開発助成事業（県 産業振興財団）	中赤外線レーザーによる 樹脂成形品切断技術 の開発	新規	共同	R4	共同研究企業は樹脂のブロー成形品のバリ仕上げ作業をレーザーとロボットによる自動化に取り組んでいる。今回、高出力中赤外線レーザーを応用し、材料色に依存しない樹脂成形品の切断加工技術を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社 光産業創成大学院大学
一般共同研究	繊維への微細マーキングの高速化	新規	共同	R4 ～ R6	偽造防止用に当センターが開発した繊維への微細カラーマーキング技術の実用化が期待されている。そこで、マーキング速度の高速化のため、繊維への染料の塗布方法、レーザー光源を含めた光学系の再構築を図る。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	IoT・機械学習を活用した長期稼働機器の遠隔診断技術の開発	新規	共同	R4 ～ R6	工場稼働する機器の予知保全を活用することを目的として、後付けIoT化した機器から取得したデータを機械学習で解析することで機器の稼働状態を診断する技術を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 （競争的資金以外の研究）	生分解性プラスチックの糸糸に関する研究	新規	受託	R4	生分解性プラスチックのモノフィラメントを製造し、近年国際的な注目を浴びている海洋ごみ対策に対応した釣り糸の開発を目的とする。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 （競争的資金以外の研究）	粉末冶金用金属粉末の粉体特性評価	新規	受託	R4	新規粉末製造法の粉末形状を調整するには、後処理の効果を検証する必要がある。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 （競争的資金以外の研究）	撥液めっきにおけるめっき金属種の検討	新規	受託	R4	撥液めっきの新たな製品展開を進めるため、無電解ニッケルめっき以外の分散めっきについて検討する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 （競争的資金以外の研究）	輸送機器用部品向け結晶加齢処理技術の開発	新規	受託	R4	電動車の生産台数は年々増加しており、電動コンポーネントの小型化に伴い、熱を制御する技術の開発が求められている。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 （競争的資金以外の研究）	蓄熱材の熱物性評価	新規	受託	R4	巻き線技術だけを用いたモーターコイルの小型化には限界があるため、コイルにプレス成形することで安価でコンパクトなコイル作製を目標として、プレス成形時のコイルへの影響を検討する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究 (競争的資金以外の研究)	EPMA分析向け特殊形状 試料固定用サンプルホルダーの作成	新規	受託	R4	製品に不良不具合が発生した場合に、原因調査のため、EPMA (電子線マイクロアナライザー) による元素マッピング分析を行う。試料面・分析対象箇所を水平にできるサンプルホルダーを作製する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 (競争的資金以外の研究)	ガラスコーティング剤 のアクセサリ類への 適用と性能評価	新規	受託	R4	アクセサリ類に利用できる無色透明、防食性、硬度・耐摩耗性、低アレルギー性のガラス系コーティング剤について、適用と性能評価を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究 (競争的資金以外の研究)	セメントタイトの析出形 態に及ぼす熱処理条件 の影響	新規	受託	R4	工具を高強度化するためには、内部に析出されるセメントタイトの形状や大きさの最適化が必要である。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

静岡県工業技術研究所

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3028 FAX 054-278-3066

静岡県工業技術研究所

沼津工業技術支援センター

〒410-0022 沼津市大岡3981-1

TEL 055-925-1100 FAX 055-925-1108

静岡県工業技術研究所

富士工業技術支援センター

〒417-8550 富士市大淵2590-1

TEL 0545-35-5190 FAX 0545-35-5195

静岡県工業技術研究所

浜松工業技術支援センター

〒431-2103 浜松市浜名区新都田1-3-3

TEL 053-428-4151 FAX 053-428-4160

令和4年度 年報
静岡県工業技術研究所

令和6年1月発行

編集・発行

静岡県工業技術研究所

企画調整部

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3028

FAX 054-278-3066